

令和7年度 行政評価結果報告書

静岡県吉田町

目次

1 行政評価結果報告書の概要					
(1) 行政評価結果報告書について	1				
(2) 項目の説明	1				
(3) 分野別における「令和6年度決算額」及び「令和8年度の方向性」 の集計結果まとめ	2				
2 行政評価報告書					
第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	4				
地震・防災対策	5				
治山治水対策	6				
交通安全対策	7				
くらし安全	7				
消防・救急	7				
第2章 豊かな自然と共生するまちづくり	8				
上水道	9				
下水道・浄化槽・し尿処理	9				
環境衛生	10				
ごみ減量・リサイクル	11				
地球温暖化防止対策	11				
第3章 活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり	12				
賑わいづくり	13				
土地利用	14				
農業	14				
水産業	15				
商工業	16				
観光	16				
新産業	16				
企業誘致	17				
雇用・就業対策	17				
第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり	18				
住環境	19				
公園・緑地・水辺	19				
道路網	20				
生活交通	21				
コミュニティ	21				
多文化共生	21				
男女共同参画・人権尊重	22				
ユニバーサルデザイン	22				
第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	23				
健康づくり	24				
地域医療	25				
地域福祉	25				
社会保障（国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護）	26				
子育て支援	28				
高齢者福祉	30				
障害者福祉	30				
第6章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	32				
幼児教育	33				
学校教育	33				
地域教育	34				
青少年健全育成	34				
生涯学習	35				
芸術文化・文化財	36				
スポーツ・レクリエーション	36				
第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	37				
行財政	38				
デジタル化	41				
情報公開	41				
広報・広聴	42				

行政評価結果報告書の概要

(1) 行政評価結果報告書について

この報告書は、PDCAサイクルの考え方を取り入れた吉田町まちづくりステップアップ行政評価システムのツールである、「吉田町まちづくりステップアップシート」の「C(Check)」シートにおける次年度の方向性を抜き出し、第6次吉田町総合計画前期基本計画における章及び分野ごとに取りまとめたものです。

原則、ここで示された方向性に基づき、次年度以降の実施計画の作成及び次年度予算要求が行われます。

(2) 項目の説明

本報告書における項目の説明は以下のとおりです。

- ① 「No.」…通しの番号
- ② 「実施計画事業名」…評価の基本単位となる実施計画事業の名称
- ③ 「令和6年度の予算事業」…令和6年度に予算を伴って実施した「実施計画事業」に対応する「予算事業名」と「決算額」
- ④ 「令和7年度の実施状況」…令和7年度の実施計画事業に対する実施状況については、原則として、令和7年6月1日時点における内容を取りまとめたものになります。
- ⑤ 「令和8年度の方向性」
 - ・ 「現状のまま継続」…実施計画事業の目的や手法を変えずに継続する場合
 - ・ 「見直しの上で実施」…実施計画事業の目的や手法を見直して実施する場合
 - ・ 「休止」…実施計画事業の目的はそのまま、実施計画期間において実施を中断している場合
 - ・ 「廃止」…実施計画事業の全部を取りやめる場合
 - ・ 「終了」…あらかじめ予定された実施計画事業が終了した場合
- ⑥ 「担当課」…実施計画事業の担当課

(3) 分野別における「令和6年度決算額」及び「令和8年度の方向性」の集計結果まとめ

章	分野	令和6年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり	地震・防災対策	136,316	6	2	0	0	0
	治山治水対策	291,424	4	0	1	0	0
	交通安全対策	26,092	2	0	0	0	0
	くらし安全	10,003	2	0	0	0	0
	消防・救急	344,928	5	0	0	0	0
章の合計		808,763	19	2	1	0	0
第2章 豊かな自然と共生するまちづくり	上水道	891,964	7	0	0	0	0
	下水道・浄化槽・し尿処理	1,938,830	8	1	0	0	0
	環境衛生	45,016	4	1	0	0	0
	ごみ減量・リサイクル	592,652	1	1	0	0	0
	地球温暖化防止対策	4,774	0	1	0	0	0
章の合計		3,473,236	20	4	0	0	0
第3章 活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり	賑わいづくり	585,998	5	1	0	0	0
	土地利用	11,625	2	0	0	0	0
	農業	174,237	9	0	1	0	0
	水産業	134,189	2	1	0	0	0
	商工業	2,120	1	0	0	0	0
	観光	54,552	1	0	0	0	0
	新産業	4,601	1	0	0	0	0
	企業誘致	211	1	0	0	0	0
	雇用・就業対策	3,011	1	0	0	0	0
章の合計		970,544	23	2	1	0	0

章	分野	令和6年度決算額(千円)	現状のまま継続	見直しの上で実施	休止	廃止	終了
第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり	住環境	151,532	5	0	0	0	0
	公園・緑地・水辺	75,591	4	1	0	0	0
	道路網	435,853	3	2	0	0	0
	生活交通	76,431	1	0	0	0	0
	コミュニティ	37,794	1	1	0	0	0
	多文化共生	1,987	1	0	0	0	0
	男女共同参画・人権尊重	8,261	3	0	0	0	0
	ユニバーサルデザイン	0	1	0	0	0	0
章の合計		787,449	19	4	0	0	0
第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり	健康づくり	261,705	5	1	0	0	0
	地域医療	459,711	4	0	0	0	0
	地域福祉	201,240	6	0	0	0	0
	社会保障	3,832,665	8	0	0	0	0
	子育て支援	1,183,344	8	4	0	0	0
	高齢者福祉	2,282,636	5	0	0	0	0
	障害者福祉	806,944	4	0	0	0	0
章の合計		9,028,245	40	5	0	0	0
第6章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり	幼児教育	4,101	0	1	0	0	0
	学校教育	472,168	12	0	0	0	0
	地域教育	4,838	1	0	0	0	0
	青少年健全育成	1,022	1	0	0	0	0
	生涯学習	174,576	6	2	0	0	0
	芸術文化・文化財	4,190	2	0	0	0	0
	スポーツ・レクリエーション	53,702	0	2	0	0	0
章の合計		714,597	22	5	0	0	0
第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり	行財政	3,327,207	29	3	3	0	0
	デジタル化	115,960	1	0	0	0	0
	情報公開	7,639	1	0	0	0	0
	広報・広聴	14,247	2	1	0	0	0
章の合計		3,465,053	33	4	3	0	0
合計		19,247,887	176	26	5	0	0

第1章 災害に強く安全・安心に暮らせるまちづくり

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 1 地 震 ・ 防 災 対 策

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
1	災害救助事業	災害救助費	0	・関係課と連携して県が主催する研修等に参加し、突発的な災害に備えている。	見直しの上で実施	・避難行動要支援者個別計画を含め、災害時避難行動要支援者対策の推進を図っていく。 ・福祉避難所運営マニュアルの改訂を行う。	福祉課
2	災害復旧事業	厚生労働施設災害復旧費	—	・災害により被災した施設等の復旧について、遅滞なく対応するための体制を整えている。	現状のまま継続	・引き続き、災害により被災した施設等の復旧について遅滞なく対応するための体制を整える。	財政管理課
		農林水産施設災害復旧費	0				
		公共土木施設災害復旧費	0				
		文教施設災害復旧費	—				
その他公共施設・公用施設災害復旧費	—						
3	地震・防災対策事業	地震対策費	32,140	・総合防災訓練と地域防災訓練の取り組みについて見直しを行い、実情に即した訓練内容に変更する。 ・避難所運営マニュアルの作成に向けて、自主防災会、関係機関と調整を行う。 ・県の交付金等を有効的に活用し、防災資機材等の整備を計画的に行う。 ・原子力災害広域避難計画の策定に向け、広域避難先となる県内外の自治体(静岡市、富士宮市、群馬県前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、太田市)と調整を図りながら協議を行う。 ・川尻防潮堤エリアの維持管理は、シーガーデンシティ構想の賑わいづくりに結びつくよう、(一社)吉田町まちづくり公社との連携強化を図り、適正な維持管理を実施する。	見直しの上で実施	・自主防災会、関係機関等とのワーキンググループを活用して避難所運営マニュアルを作成する。 ・関連機関や自主防災会など地域団体との連携を深め、訓練等を通じて地域防災力の向上を図る。 ・川尻防潮堤エリアを活用した防災啓発活動を実施するとともに、環境保全に配慮した維持管理に努める。 ・「吉田町原子力災害広域避難計画」の実効性向上に向け、国、県、避難先自治体、電力会社との協議を進める。 ・防災に関する補助制度を最大限に活用し、地震・津波対策を推進する。 ・国土強靱化地域計画について、施策の進捗状況や社会経済情勢の変化等を考慮し更新する。 ・災害時における避難支援や罹災証明書発行などを円滑に行うため、被災者生活再建支援システムを構築する。	防災課
		国民保護対策費	1				
		静岡県総合防災訓練事業費	—				
4	TOUKAI-0促進事業	TOUKAI-0促進事業費	25,482	・無料耐震診断(わが家の専門家診断事業)については、戸別訪問等で積極的に周知推進する。 ・これまでに無料診断や計画策定で終了している家屋を中心に6月から戸別訪問を実施している。 ・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金が、一体型補助金制度(社会資本整備総合交付金)となり、計画から工事実施までを一連で補助することで、引き続き、TOUKAI-0事業の推進を図る。 ・ブロック塀撤去費補助金について、町内の通学路及び避難路を町耐震改修促進計画に位置付けることにより、社会資本整備総合交付金を活用し、引き続き、事業の推進を図る。	現状のまま継続	・木造住宅の耐震補強計画策定及び耐震補強工事補助金一体型制度について、戸別訪問やPR活動を行い制度の周知を図り耐震化に重点を置きつつ減災化も推進する。 ・ブロック塀の撤去事業については、制度周知を図り、撤去を推進する。 ・県は、令和7年度を以ってTOUKAI-0事業は終了するが、耐震改修等に対する補助制度は継続する方向性としていることから、町としても県とともに建築物の耐震化の推進を図り、更なる住民の安全で快適な住環境の整備を図る。	都市環境課
5	津波・高潮危機管理対策事業	津波・高潮危機管理対策事業費	9,400	・引き続き、津波対策検討業務の進捗を図りながら、漁業関係者及び関係機関への説明、協議に向け準備を進める予定である。 ・設計及び工事実施時に有効活用できる国または県の交付金等の財源確保に努める。	現状のまま継続	・レベル2津波対策の工事着手に向け、業務成果及び関係機関との協議を踏まえながら事業の進捗を図る。 ・長寿命化計画の策定が必要となる施設とレベル2津波対策の対象施設が重なることから、総体的に検討を進めていく。	産業課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
6	防潮堤整備事業	防潮堤整備事業費	34,383	・関係機関と協議を重ね盛土工事に着手する。 ・令和8年度から用地買収をする予定であるため、工作物等の用地調査、不動産鑑定の実施及び地権者、耕作者との交渉を進める。 ・整備に必要な各種申請及び届出を実施する。	現状のまま継続	・防潮堤(住吉工区)において、建設発生土を利用した整備を進める。 ・背後盛土区間において、用地買収及び物件移転補償を進める。	建設課
7	防災意識向上事業	防災意識向上事業費	14,605	・防災講演会については、当町の防災力向上のために作成する避難所運営マニュアルの作成にあたり、避難所運営に関する講演会を実施し、町民への意識啓発を図る。 ・ジュニア防災士養成講座や地域防災指導員養成講座の実施については、県等の関係機関に講師を依頼し、経費削減を図る。 ・地域防災力向上のため、自主防災会に自助・共助の意識啓発を促し、防災訓練等に取り組むよう推進する。	現状のまま継続	・防災公園(北オアシスパーク)を活用した啓発活動を実施し、防災意識の向上と知識の普及に努める。 ・地域防災指導員の養成及びフォローアップに努める。 ・県及び吉田中学校と連携し、中学1年生全員を対象としたジュニア防災士養成講座を開催する。 ・町民の防災意識向上のため、「防災講演会」を開催するとともに、防災出前講座や防災教育を併せて実施する。	防災課
8	情報伝達充実・強化事業	情報伝達充実・強化事業費	20,305	・有事に備え、各種防災行政通信機器等の保守・点検を行い、計画的な維持管理に努める。 ・同報無線と防災ラジオ、音声自動応答サービス、よした防災メール、吉田町公式LINEを連携させ、同報無線の放送内容の多重化を継続する。 ・よした防災メール、町公式LINEによる大雨前の注意喚起など、きめ細やかな防災情報を配信する。	現状のまま継続	・デジタル化が完了した防災行政無線について、適切な運用が継続できるよう計画的な維持管理を行う。 ・町民への正確かつ速やかな防災情報伝達のため、伝達手段の多重化や効率化を推進する。 ・よした防災メールや町公式LINEへの登録を促進する。	防災課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 2 治 山 治 水 対 策

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
9	治水対策推進事業	治水対策推進事業費	221,236	・引き続き、第3号ポンプ場整備の早期完成に向け工事進捗を図る。 ・町内各地で頻発する浸水被害に対応するため、可搬式排水ポンプを購入する。	現状のまま継続	・坂口谷川水災害対策プラン及び吉田町湯日川流域治水対策計画に基づき、治水対策を推進する。	建設課
10	水防事業	水防費	664	・出水期前に水防資器材の補充及び点検を行うことで災害発生時に備えた。	現状のまま継続	・引き続き、水害等の災害への備えとして、水防資器材の点検及び補充を定期的に行う。	建設課
11	都市下水道事業	都市下水道費	—	・令和7年度の都市下水道事業の実施予定はなし。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和8年度は休止とする。	建設課
12	河川改修事業	大幡川改修事業費	11,286	・大窪川(日の出橋付近)において、引き続き設計業務及び護岸改修の整備を推進する。 ・大窪川(竹炭の里付近)において、損傷した護岸の暫定整備に伴う測量設計業務及び護岸改修を実施する。 ※繰越事業あり	現状のまま継続	・引き続き、大窪川及び第2大窪川護岸改修の事業進捗を図る。	建設課
		大幡川改修事業費(繰越明許)	45,877				
		河川改修事業費	—				
13	水門・排水機場維持管理事業	水門・排水機場管理費	12,361	・水門や排水機場などの農業用施設の適正な維持管理を行っている。 ・農業用施設の点検サイクルを構築し、定期的な点検を実施する。	現状のまま継続	・農業用施設の適正な維持管理を行うとともに、必要に応じて施設の修繕を実施する。	建設課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 3 交 通 安 全 対 策

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
14	交通安全推進事業	交通安全推進費	6,644	・交通安全対策委員会等において、自治会長をはじめ関係機関に町内外の交通情報を提供することで、町民の交通安全意識の高揚に努める。 ・交通指導員や各交通安全関係団体と連携し、街頭立哨、広報、交通安全教室等を実施することで、交通安全に関する指導・啓発を行う。	現状のまま継続	・牧之原警察署、交通安全協会等の関連団体と連携しながら、交通安全に関する活動や広報等を行い、交通事故の減少に努める。 ・交通安全教室等の実施により、高齢者や児童に対して交通安全に関する指導・啓発を行う。	防災課
		交通指導員活動費	6,558				
15	交通安全対策事業	交通安全施設整備費	12,890	・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づいた合同点検で対策が必要とした危険箇所について、着実かつ効果的に子供を守る交通安全対策を推進するため、区画線の復旧及び防護柵などを整備する。	現状のまま継続	・パトロールや地元からの要望等に基づき、交通安全施設を整備する。 ・「子供の移動経路に関する交通安全プログラム」に基づく交通安全対策を実施する。	建設課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 4 く ら し 安 全

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
16	防犯対策推進事業	防犯対策推進費	9,954	・警察署から寄せられた不審者情報を共有し、町民への情報提供を迅速に行ったり、青色防犯パトロールの実施回数を増やしたりすることで、防犯環境の整備を図る。 ・老朽化した防犯灯を計画的に修繕することで地域の安全・安心を確保する。	現状のまま継続	・刑法犯罪認知件数は、減少傾向にあるものの、振込め詐欺やロマンス詐欺等の特殊詐欺による被害は依然として発生しているため、引き続き、犯罪の未然防止と町民の防犯意識の高揚を図る。 ・防犯対策は、地域や関係機関との連携が不可欠であるため、今後も自治会、学校、警察署、榛南防犯協会等と連携を図り、効率的に防犯対策事業を進める。	防災課
17	消費生活啓発事業	消費生活費	49	・消費生活相談員の相談業務向上を目的とした新たな相談業務システムが導入されるため、その準備としてPC端末周辺機器の調達を行っている。 ・広報、回覧文書及びチラシによる啓発を行うとともに、消費生活相談員による消費生活相談の実施によって、消費者トラブルによる被害の未然防止や早期解決を図っている。	現状のまま継続	・消費生活相談員の相談業務向上を目的とした新たな相談業務システムを効果的に運用できるよう、消費生活相談員の能力向上を図る。 ・関係団体と情報を共有し、発生している事案の傾向を把握することによって、効果的な啓発活動を実施していく。	産業課

第 1 章 災 害 に 強 く 安 全 ・ 安 心 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 5 消 防 ・ 救 急

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
18	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(消防費)	14,416	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。	防災課
19	消防救急広域事業	消防救急広域事業費	274,912	・広域化による効果を積み重ねることにより、消防救急サービスの向上を図る。	現状のまま継続	・広域化によるスケールメリットを持続的に活かし、「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」を目指す。 ・消防力強化のため、吉田消防署の適正配置について検討を進める。	防災課
20	消防団運営事業	消防団運営費	26,518	・常備消防との連携を強化し、地域全体における消防力の向上を図る。 ・町内事業者に吉田町消防団協力事業所表示証交付制度や県が実施している事業税の優遇措置を広く周知することにより、新たな団員確保につなげる。	現状のまま継続	・常備消防との連携を強化し、地域全体における消防力の向上を図る。 ・町内事業者に吉田町消防団協力事業所表示証交付制度や県が実施している事業税の優遇措置を広く周知することにより、新たな団員確保につなげる。	防災課
21	消防団員福利厚生事業	消防団員福利厚生費	6,445	・退職報償金の支給、消防団員の福祉共済への加入、活動中の怪我に対する公務災害補償により消防団員の福利厚生の充実を図る。	現状のまま継続	・引き続き、国の方針に準じて退職報償金の支給、公務災害補償、消防団員の福祉共済への加入を継続することで、団員の福利厚生の充実を図る。	防災課
22	消防施設整備事業	消防施設整備事業費	22,637	・災害発生時に消防資機材が適切に使用できるように計画的に整備する。	現状のまま継続	・消防に関する補助制度を活用し、消防用資機材等の整備を計画的に進める。	防災課

第2章 豊かな自然と共生するまちづくり

第 2 章 豊 かな 自然 と 共生 する ま ち づ くり 分 野 1 上 水 道

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
23	水道事業会計(資本的支出)建設改良事業	建設改良費	214,029	<ul style="list-style-type: none"> 安全な水道水を安定して供給するため、予定していた建設改良事業を着実に進める。 令和7年度より社会資本整備総合交付金を活用し、基幹管路の耐震化を進める。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給を確保するため、基幹管路の耐震化を進める。 法定耐用年数を経過した管路を更新する老朽管布設替事業では、漏水による無効水量を減らすため計画的に布設替を実施していく。 水道施設更新計画に基づき、各設備の更新を進める。 	上下水道課
		固定資産購入費	414				
24	水道事業会計(水道事業費)営業費用	原水浄水及び配水給水費	141,596	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程等に基づく事務を行う。 地方公営企業会計制度等による企業会計基準により会計処理を実施する。 民間委託事業者と連携して未収金の徴収に努め、前年度以上の収納率を目指す。 有収率を向上させるため、漏水調査を行うとともに施設の適切な維持管理を行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業は、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もって公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与すること」を目的とし、安心して飲用できる安全な水道水を安定的に供給するため、吉田町上水道事業給水条例や吉田町水道事業及び下水道事業会計規程、地方公営企業会計制度等に基づき、適正な事務を行うとともに、漏水調査や施設の適切な維持管理を行う。 	上下水道課
		受託工事費	0				
		業務費	56,898				
		総係費	21,491				
		減価償却費	247,310				
		資産減耗費	8,420				
		その他営業費用	97				
25	水道事業会計(水道事業費)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	31,699	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 水道事業経営戦略に基づいて企業債の借入を行うが、償還額を見据えて経営の健全化を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 健全財政を維持し、適切な企業会計処理を行う。 経営戦略に基づき企業債の借入を必要最小限にとどめ、経営の健全化を図る。 	上下水道課
		雑支出	52				
		消費税	17,932				
26	水道事業会計(水道事業費)特別損失	その他特別損失	0	<ul style="list-style-type: none"> 会計処理上の様々な不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 会計処理上の様々な不測の事態に対応するため、特別損失を予算計上する。 	上下水道課
27	水道事業会計(水道事業費)予備費	予備費	0	<ul style="list-style-type: none"> 様々な不測の事態に対応するため予備費を予算計上する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 不測の事態に対応するため引き続き予備費を予算計上する。 	上下水道課
28	水道事業会計(資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	150,395	<ul style="list-style-type: none"> 「当該年度の借入額は当該年度の元金償還額を上回らないこと」の原則を遵守しながら、引き続き借入先からの償還表に基づく償還を行い、企業債残高を減らす。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、借入の原則に基づき企業債残高を減らし、借入先からの償還表に基づいて企業債を償還する。 	上下水道課
29	水道事業会計(資本的支出)国庫(県)支出金返還金	国庫(県)支出金返還金	1,631	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県生活基盤施設耐震化等補助金交付要綱に基づき、適正な事務処理を行う。 	上下水道課

第 2 章 豊 かな 自然 と 共生 する ま ち づ くり 分 野 2 下 水 道 ・ 浄 化 槽 ・ し 尿 処 理

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
30	公共下水道事業繰出金	公共下水道費	436,400	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業が、滞りなく汚水処理を行えるよう引き続き繰出しを行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 公共下水道事業が滞りなく執行できるよう、下水道事業で賄うことができない費用に対して、一般会計からの繰出しを継続する。 	上下水道課
31	公共下水道事業会計(資本的支出)建設改	建設改良費	308,772	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度も下水道の普及促進のため、管渠整備を行うとともに、下水処理施設の地震対策及びストックマネジメント計画に基づく施設の改築・更新工事を実施する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 下水道の普及促進のため、吉田町公共下水道全体計画及び吉田町公共下水道事業計画に沿って事業を実施する。 ストックマネジメント計画に基づき、下水処理施設の改築及び更新を実施する。 	上下水道課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
32	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)営業費用	管渠及び処理場費	165,563	・ストックマネジメント計画に基づく、点検調査結果により、必要な施設管理を適切に実施している。 ・新たな小売電気事業者と契約をし、経費節減を図った。	現状のまま継続	・ストックマネジメント計画に基づく予防保全型の施設管理を行い、更新・修繕費用の抑制を図るとともに、安定した汚水処理機能を維持する。 ・原油価格・物価高騰の継続が見込まれるが、業務集約や水洗化率向上に努め、経費縮減・事業の効率を図る。
		総係費	37,176			
		減価償却費	412,420			
		資産減耗費	0			
33	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	57,648	・引き続き、適正な会計事務を行うため、借入先からの償還表等に基づく償還を行う。	現状のまま継続	・引き続き、借入先からの償還表に基づいて企業債利子を償還する。
34	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)特別損失	その他特別損失	5,145	・特別損失を計上し、会計処理上の不測の事態に備えている。	現状のまま継続	・会計処理上の不測の事態に備えるため、特別損失を計上する。
35	公共下水道事業会計 (下水道事業費用)予備費	予備費	0	・下水道施設が常に使用できる状態を継続するため、不測の事態に備え予備費を計上する。	現状のまま継続	・引き続き、不測の事態に備え、予備費を計上する。
36	公共下水道事業会計 (資本的支出)企業債償還金	企業債償還金	313,236	・「当該年度の借入額は、当該年度の元金償還額を上回らないこと。」の原則を遵守しながら、引き続き、借入先からの償還表に基づく償還を行い地方債残高を減らす。	現状のまま継続	・引き続き、地方債残高を減らすため、借入先からの償還表に基づいて地方債を償還する。
37	生活排水改善対策事業	生活排水改善対策事業費	86,703	・前年度と同数規模の予算額とし、合併処理浄化槽の設置・転換希望者に対応している。	見直しの上で実施	・循環型社会形成推進地域計画に基づき、本事業を推進し、くみ取り槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を図る。また、令和8年度から国費と県費の宅内配管及び撤去費が上がるため、対応した補助金額となる。
38	吉田町牧之原市広域施設 組合負担金(し尿処理費)	吉田町牧之原市広域施設 組合負担金(し尿処理費)	115,767	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。

第 2 章 豊 かな 自然 と 共生 する ま ち づ くり 分 野 3 環 境 衛 生

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
39	環境衛生推進事業	環境衛生推進事業費	2,569	・畜犬の飼育実態の把握に努めるとともに、保健所と連携した個別訪問や動物病院での個別指導を実施することで、飼い主への適正飼育や狂犬病予防注射の働きかけを行う。また、飼い主のいない猫による生活環境問題を減少させるために引き続き獣医師や保健所、協力団体と連携を行う。	現状のまま継続	・「狂犬病予防法」に基づく事務処理及び「動物の愛護及び管理に関する法律」で行える飼い主のいない猫による対策を講ずる。また、一般廃棄物処理業の届出に係る事務処理を適切に行う。
40	環境保全事業	環境保全費	16,895	・他課からの依頼による公共用地の除草作業や定期的な不法投棄のコントロールを行うことにより、生活環境の保全に努め良好な生活環境を維持する。	現状のまま継続	・引き続き、町民の環境美化活動に対する意識の啓発や活動への参加を促し、町民参加によりきれいで住みよい生活づくりを推進する。
41	環境教育推進事業	環境教育推進事業費	14	・住民の環境問題に関する意識を高めるような、より身近で関心の高いテーマを学習の場として提供する。 ・吉田町オアシスマつり内において、環境教室を実施した。	見直しの上で実施	・環境に対する啓発事業の拡大を図り、住民が環境について、考える機会を提供する。また、他課との連携による環境啓発事業を実施していく。
42	公害対策事業	公害対策費	5,788	・適正な環境監視と公害発生源対策を推進するとともに、新たな環境問題については関係機関と連携するなどして的確な対応を進めていく。	現状のまま継続	・各種法令に基づく、特定施設について、排出基準等の規制値の遵守や公害事故防止対策の指導を行うことにより、生活環境を保全する。
43	吉田町牧之原市広域施設 組合負担金(火葬場費)	吉田町牧之原市広域施設 組合負担金(火葬場費)	19,750	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。

第 2 章 豊 かな 自然 と 共生 する まち づくり 分野 4 ごみ 減 量 ・ リ サ イ ク ル

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
44	ごみ減量・リサイクル推進事業	ごみ減量・リサイクル推進事業費	9,715	・モデル地区における視察研修の実施 ・おいら事業との業務提携 ・衣類回収事業を実施	見直しの上で実施	・モデル地区でのごみ減量事業を開始する。 ・吉田町環境基本計画に基づき、課題や取組を改めて検証し、当町の現況に即した循環型社会を目指し、一般廃棄物の適正処理やごみ減量化・資源化を推進する。	都市環境課
45	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(ごみ処理費)	582,937	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業の展開をしていく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。	都市環境課

第 2 章 豊 かな 自然 と 共生 する まち づくり 分野 5 地球 温 暖 化 防 止 対 策

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
46	地球温暖化防止対策事業	地球温暖化防止対策事業費	404	「吉田町住宅新エネルギー機器等設置事業補助金要綱」に基づき、太陽光発電システムと蓄電池システムを同時設置する者に対し補助金を交付することで、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの利用を推進し、二酸化炭素の排出を抑制する取組を引き続き実施した。	見直しの上で実施	・地球温暖化防止対策実行計画(事務事業編)を策定し、本庁における事務事業の実施に伴い、発生する温室効果ガスの排出削減等の措置を講ずる。 ・「地球温暖化対策推進法」に基づき、様々な環境対策を推進し、町民や企業と協力することを視野に入れながら、地球温暖化を防止し、低炭素社会を実現する。 ・吉田町環境基本計画、地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、進捗管理、目標達成のため、省エネルギー化や二酸化炭素排出量削減のため、意識啓発、日常生活をできることを実践していきけるよう啓発するとともに、一般家庭におけるCO2削減のための新たな補助事業を実施する。	都市環境課
	吉田町環境基本計画策定事業費	4,370					

第3章 活力と魅力あふれる産業振興のまちづくり

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 1 賑 わ い づ く り

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況		令和8年度方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
47	シーガーデンシティ推進事業	シーガーデンシティ推進事業費	27,917	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田IC周辺のバス拠点整備に向け、事業用地の取得を予定している。 ・吉田公園周辺整備については、民間事業者との対話を行いながら過年度業務成果を参考に官民連携事業スキームの制度設計を行い、実施方針の策定を実施する。 ・シーガーデン整備に関する事業担当課が一堂に会する打合せ会を毎月開催し、各課で情報を共有しつつ、事業全体の進捗管理を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田IC周辺のバス拠点整備については、財源等を考慮しながら段階的に用地を取得する。 ・吉田公園周辺については、民間事業者の意見を踏まえて実施方針内容の修正を都度行うとともに、施設整備における要求水準について検討する。併せて整備費や維持管理費の概算を行い、VFMを算出することで官民連携事業の妥当性を明確化し、特定事業選定へとつなげていく。 	企画課
48	シティプロモーション事業	シティプロモーション事業費	30,577	<ul style="list-style-type: none"> ・移住を検討している子育て世代向けに、町の先進的な取り組みであるICTを活用した授業風景を見学する「吉田町教育移住ツアー」について、当町と県のホームページやSNSを活用し、積極的に広報を実施している。 ・令和6年度に制作したPR動画を活用してYouTubeやInstagram、イベント等で情報発信している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・移住ツアーの拡充を検討して、より効果的な移住定住施策の促進につなげていく。 ・町のブランドメッセージ・ロゴマークの活用やPR動画を町民と協働して発信する手法を検討し、町の主要施策の周知を図っていく。 ・町の認知度向上、移住促進に向け、町内の企業等と連携したシティプロモーションに取り組む。 	企画課
49	ふるさと納税推進事業	ふるさと納税推進事業費	523,113	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に新たに寄付者と返礼品事業者間の受発注業務を担う事業者と契約したことにより、返礼品提供事業者とポータルサイトとの連携がスムーズになり、返礼品の見直しや新規返礼品の開発を積極的に進めている。 ・結デザインや返礼品協力事業者と連携しながら、ブランド力向上のための新たなPR手法を検討している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・複数サイトから満遍なく寄附を得られる体制づくりを行い、安定した収入源となることを目指す。 ・返礼品提供事業者、受発注事業者、主要サイトと連携し、返礼品の改善、売れ筋となりうる新規返礼品の開発を継続する。 ・数万件ある申込者との接点を活用し、寄附者と寄附自治体に留まっている関係から脱却し、関係人口・交流人口に繋げる施策を展開する。寄附者に町への親しみや想いをより深めていただく施策の一例として、ふるさと納税サイトの仕組みを活用し、町の個別事業へ寄附者の意思を直接反映することが可能なクラウドファンディングの実施を検討する。(対象事業の案:シーガーデンシティ構想) ・寄附者を増やし、関係人口・交流人口に繋げることで資金面・人材面で持続的な行政運営を行う一助として本事業を活用する。 	企画課
50	大井川流域交流事業	大井川流域交流費	352	<ul style="list-style-type: none"> ・大井川流域の魅力発信や住民同士の交流促進について、流域市町と意見交換を行いながら情報発信の方法について検討している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、大井川流域の情報発信に努める。 	企画課
51	空港活用推進事業	空港活用推進費	333	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度で終了した静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業費補助金の後継となる、静岡空港隣接市町連携事業費補助金を活用し、吉田インターチェンジ整備事業、シーガーデンレジャーとスポーツゾーン整備事業に活用する。 ・空港周辺市町空港共生協議会において、先進地視察やPR事業を実施する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・空港と地域の調和ある発展を進めるため、吉田町空港対策協議会と連携しながら空港対策及び利活用促進を図る。 ・空港周辺市町が共通の認識の下に空港周辺のまちづくりや賑わいづくりに取り組むため、空港周辺市町空港共生協議会の事業を継続する。 ・令和7年度から令和10年度の4年間の期間で、空港周辺市町の賑わいづくりに関する新たな補助制度が計画通り成立したため、対象事業に補助金を活用する。 	企画課
52	交流活性化推進事業	地域交流費	3,706	<ul style="list-style-type: none"> ・八女市・吉田町職員交流事業の開催及び相互出店に向け、事業内容の検討や調整を行っている。 ・カムカム補助金対象イベントの開催に向けた事業者のサポートを行っている。 ・補助金の交付額を増額し、新たなイベントの誘致を促している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、八女市との交流を通じた賑わいづくりを図っていく。 ・町内での大規模イベントの開催を促進するために、様々な媒体を活用し全国に向けて支援制度等を広く周知していく。 	企画課

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 2 土 地 利 用

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
53	国土利用計画(吉田町計画)策定事業	国土利用計画策定事業費	0	・第4次吉田町国土利用計画に基づき、適正な土地利用を行う。	現状のまま継続 ・今後、各課において開発を計画する場合、各種計画を策定する場合又はこれらの見直しをする場合等は、第4次吉田町国土利用計画の位置付けを踏まえて整合性を図っていく。	企画課
54	都市計画総務事業	都市計画総務費	9,292	・引き続き、都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、現行の吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進める。また、令和6・7年度の2か年で令和8年度からの次期吉田町都市計画マスタープランを策定するとともに、国が進めるコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを実現するため、令和7・8・9年度の3か年で立地適正化計画の策定を進めていく。 ・東名吉田インターチェンジ周辺地域をはじめ、町全体の土地利用について検討を行う。 ・土地利用事業については、引き続き、健全な開発の誘導のため、適切な指導及び誘導を行っている。	現状のまま継続 ・都市計画法に基づく開発許可制度及び町の土地利用事業承認制度が設けられてから30年以上が経過し、初期に開発された宅地分譲地等の調整池及び緑地広場の金属フェンス等の経年劣化が進み、住民の安全のため適切に修繕を行う必要が生じている。また、樹木の繁茂もみられ、住民の快適な住環境を創出するため引き続き、適正な維持管理に努める必要がある。 ・東名吉田インターチェンジ周辺の都市計画の誘導施策について、県都市計画担当部局、庁舎内関係課及び、町農業委員会など関係機関との協議を進め、今後の方策を検討し、推進する。 ・引き続き現行の吉田町都市計画マスタープランに即した都市づくりを進めながら次期計画の策定を行う。また、コンパクト・プラス・ネットワークによるまちづくりを目指して、立地適正化計画の策定に着手する。	都市環境課
		土地利用対策費	2,333			

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 3 農 業

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
55	農業総務事業	農業総務費	1,089	・積極的に研修等に参加し、情報共有や情報交換を行い地域農政の一助につなげている。	現状のまま継続 ・研修会等へ参加し、知識の習得や情報交換等を通じて、近隣市町との協力関係を継続する。 ・気象災害を被った農作物の損害を補償する農業共済制度に加入する農家の掛金の一部を町が負担することにより、農家の負担軽減を図るとともに継続して制度運営の円滑化に取り組む。	産業課
56	農業委員会運営事業	農業委員会運営費	4,806	・農業委員・農地利用最適化推進委員による最適化活動の目標を設定し、目標達成に向けて研修会等への積極的な参加を促している。 ・農業委員会サポートシステムの更新を滞りなく行っている。 ・パンフレットの配布等を通じて、農業者年金の加入推進を行っている。	現状のまま継続 ・農業委員・農地利用最適化推進委員の積極的な活動支援を行う。 ・地域計画策定に伴い、計画に沿った農用地利用集積等促進計画を作成し、担い手への農地集積を促進する。 ・タブレット端末を利用した利用状況調査を行う。 ・農地法等の厳正な事務執行に当たり、農地流動化の推進や意欲ある担い手の育成・確保に取り組み、農業全般にわたる諸問題を解決するように努める。 ・若手農業者、認定農業者を中心に農業者年金の加入推進活動を行う。 ・令和8年度に農業委員・農地利用最適化推進委員の改選	産業課
		農業者年金事務費	109			
57	農業振興事業	農業振興費	3,100	・農業等の多面的機能を発揮させるため、引き続き、片岡西中生会農業支援部が行う農用地及び水利施設の維持管理活動を支援している。 ・農業従事者で組織する農業経営振興会が行う、地域農業の振興に関する活動を支援している。	現状のまま継続 ・引き続き、農業関係団体等への支援を行うことにより、地域農業の振興に寄与する。 ・令和7年度に実施する基礎調査に基づき農業振興地域整備計画の定期変更を行う。	産業課
58	農業経営所得安定対策推進事業	農業経営所得安定対策推進事業費	75	・令和6年度申請者に対して、今年度の補助事業について説明し、継続して事業活用を促した。	現状のまま継続 ・引き続き、制度が活用できる対象者に対して、周知を行い、申請者数を増加させる。 ・電子申請者数も増加させ、事務処理の効率化を図っていく。	産業課
59	畜産事業	畜産費	3,503	・引き続き、中部家畜保健衛生所と連携して生後40日～60日の豚へ豚熱予防接種を隔週で実施する。	現状のまま継続 ・蔓延防止を図るため、予防接種や畜産農家へ指導等を行う。	産業課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
60	担い手育成総合対策事業	担い手育成総合対策事業費	3,591	・認定新規就農者へ資金支援を行うことにより、就農後の農業経営への支援を行っている。	現状のまま継続	・認定農業者等への集積・集約化を支援する。 ・安定した農業経営を維持するため、引き続き、認定新規就農者を支援する。	産業課
61	土地改良事業	土地改良事業費	34,665	・本町の基幹水利施設である大井川用水が安定的に供給されるよう大井川土地改良区や近隣市町と情報を共有しながら維持管理に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、土地改良区への賦課金助成金や国営大井川農業水利事業(第2期、H13～H29)に伴う償還金を支払う。 ・農業水利施設は農業生産基盤の中核施設であると共に、環境、防災、国土保全等の多面的機能を果たす公共性・公益性の高い施設であり、今後も安定的な用水の供給や施設機能の適正な管理を図る。	産業課
62	用水路補修・維持事業	用水路改良維持修繕費	3,507	・せき板等の農業用水取水用資材を購入・設置したことで、農業者が必要な農業用水を確保できるよう努めている。 ・農業用水の安定供給のため、農業用施設の維持管理に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、用水路の維持管理を行い、農業用水路の効率的利用を推進する。	建設課
		用水路改良維持修繕費(繰越明許)	119,663				
63	用水路改修事業	用水路改修事業費	—	・令和7年度の用水路改修事業の実施予定はなし。	休止	・事業実施時期を検討する必要があるため、令和8年度は休止とする。	建設課
64	荒廃農地再生事業	荒廃農地再生事業費	129	・荒廃農地解消アクションプランを策定し、農地パトロールの実施をはじめ、荒廃農地の解消に取り組んでいる。	現状のまま継続	・荒廃農地の解消及び発生防止のため、引き続き担い手へのあっせんや補助制度の広報及び活用に取り組む。	産業課

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ くり 分 野 4 水 産 業

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
65	水産振興事業	水産振興費	8,319	・駿河湾水産振興協議会として、県外でのイベント出展に向け、出展地区や日程等の調整を図っている。 ・榛南地域栽培漁業推進協議会に対して支援を継続することにより、漁場環境の向上や資源の確保等を図っている。 ・水産多面的機能発揮対策事業については、藻場の維持、管理を円滑に行うため、協定書に基づき事業を実施している。	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度をもって、駿河湾水産振興協議会の事業が終了となるが、令和8年度以降も協議会に参加している他市との広域連携を継続していくとともに、当町の水産物を県内外へ効果的にPRしていく方法について検討を行う。 ・吉田漁港多目的広場の活用方法について、他市町の事例等を参考に検討を行う。 ・水産業の振興と活性化を図るため、水産振興事業を実施する水産関係団体及び水産振興団体に対し、補助金を交付する。 ・負担金による事業実施により、漁場環境の維持・改善や小学生等低年齢層への啓発が図られており、今後も継続的に事業を進め、更なる水産資源を確保する。 ・海業に関わる情報収集は継続して行い、町にとって最適な水産振興の取組について研究を進める。 	産業課
		地域栽培推進事業費	—				
66	漁港管理事業	漁港管理費	19,912	・漁港及び漁場の整備等に関する法律及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携を図りながら、吉田漁港の適正な維持管理を実施している。	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、漁港及び漁場の整備等に関する法律及び吉田漁港管理条例等の規定に基づき、南駿河湾漁業協同組合吉田支所と連携を図りながら、吉田漁港の適正な維持管理に努める。 ・点検作業の効率化を図るため、ドローンを活用した点検を試行的に実施していく。 	産業課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
67	水産基盤整備事業	水産物供給基盤機能保全事業費	48,400	<ul style="list-style-type: none"> 機能保全計画の更新業務の発注事務を進めている。 港内浚渫工事の発注事務を進めている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 港内浚渫工事は継続的に実施し、航路の安全確保及びより良い漁港環境の維持に努めていく。 令和7、8年度にかけて行う機能保全計画の更新業務において、各漁港施設の最適な補修時期を検討し、次年度以降の工事計画を策定する。
		漁港施設機能強化事業費	—			
		漁港環境整備事業費	37,521			
		漁港環境整備事業費(繰越明許)	20,037			
		小規模局部改良事業費	—			

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 5 商 工 業

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
68	商工業振興事業	商工業振興費	2,000	<ul style="list-style-type: none"> 商工業振興事業費補助金交付要綱に基づき、吉田町商工会に補助金を交付することにより、地域産業の活性化を図っている。 利子助成によって、中小企業・小規模企業の経営の安定化及び健全な発展を図っている。 中小企業・小規模企業の振興を目的とした、中小企業・小規模企業振興基本条例の制定を進めている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 中小企業・小規模企業の経営安定と振興を図るため、商工業振興事業費補助金交付要綱に基づき、吉田町商工会への補助金の支出を継続する。 中小企業・小規模企業の資金調達円滑化や経営改善を支援するため、要綱に基づき利子助成・利子補給を行う。
		中小企業振興費	120			

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 6 観 光

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
69	観光振興事業	観光振興費	52,954	<ul style="list-style-type: none"> 吉田町の三大まつりや各種イベントの開催について、町観光協会及び関係機関と連携して実施する。 各種イベントに参加して、吉田町の観光PRを行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 町観光協会及び関係機関と連携をし、より誘客が望めるよう工夫をしていく。 観光施設については、経年劣化に対する修繕は、優先順位を見極め計画的に行う。
		観光PR事業費	1,598			

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 7 新 産 業

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
70	産業支援事業	産業支援事業費	4,601	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興事業費補助金や吉田町創業支援ネットワークを周知することによって、町内における新規創業の促進を図っている。 創業応援セミナーについて、よしサポ事業を展開する一般社団法人吉田町まちづくり公社へ委託し実施する。 創業支援事業を円滑に推進するために、創業支援等事業計画の更新を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 産業振興事業費補助金の活用を推進し、町内における新規創業の促進を図っていく。 創業支援機関及び関係機関と連携して、創業を目指す方々を多面的に支援する。

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 8 企 業 誘 致

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
71	企業立地振興事業	企業立地振興費	211	<ul style="list-style-type: none"> ・用地情報の提供による引合案件の増加につなげるため、遊休地情報の収集及び整理を行っている。 ・新規企業の進出、既存企業の事業拡大を促すために企業立地促進事業費補助金制度を、町ホームページ、チラシを活用して周知している。 ・県の事業に参加し、引合案件の確保、用地情報の提供を効率的かつ効果的に実施している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・町内への企業立地を促進させるため、県と連携した効果的な手法による企業誘致情報の発信や企業立地支援体制の強化を図るなど積極的な企業誘致活動を展開していく。 ・企業立地促進事業費補助金制度は企業側にとって大きな支援となっており、新規企業の進出、既存企業の事業拡大の促進につながることから継続していく。 	産業課

第 3 章 活 力 と 魅 力 あ ふ れ る 産 業 振 興 の ま ち づ く り 分 野 9 雇 用 ・ 就 業 対 策

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
72	雇用対策事業	雇用対策費	411	<ul style="list-style-type: none"> ・有能な技能労働者を養成し建築技術者を育成するため、榛南建築高等職業訓練校事業費補助金を交付するとともに、町ホームページ、チラシを活用し訓練生の募集を行っている。 ・勤労者の余暇や健康増進活動等の福利厚生の充実を図り、安定した労働力を確保するため、榛南地区勤労者共済会に小規模勤労者福祉推進事業費補助金を交付する。 ・勤労者及びその家族の福祉向上を図るために、榛南地区労働者福祉協議会に榛南地区労働者福祉協議会事業費補助金を交付する。 ・合同企業説明会の参加企業及び来場者を増やすために、アンケート調査を基に開催時期等の見直しを吉田町商工会及び公共職業安定所と検討し、開催する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、榛南建築高等職業訓練校事業費補助金の交付及び訓練生の募集により榛南職業訓練協会を支援し、職業人として有為な労働者の養成を図る。 ・勤労者の余暇や健康増進活動の福利厚生の充実を図り、安定した労働力を確保するため、榛南地区勤労者共済会への小規模勤労者福祉推進事業費補助金の支出を継続する。 ・勤労者及びその家族の福祉向上を図るため、榛南地区労働者福祉協議会への榛南地区労働者福祉協議会事業費補助金の支出を継続する。 ・吉田町商工会及び公共職業安定所と連携し、合同企業説明会を開催し就業の促進を図る。 ・地域就職支援事業費補助金制度をPRすることによって、地元企業への就業の促進を図る。 	産業課
	労働福祉費	2,600					

第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 1 住 環 境

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
73	空き家対策事業	空き家対策事業費	65	・空き家の所有者からの相談については、県の相談会の紹介や空き家バンクの紹介を行う。 ・吉田町空き家対策協議会で相談会を開催する。	現状のまま継続	・引き続き、空き家の所有者からの相談については、県の相談会や空き家バンクを紹介するとともに近隣住民からの相談については、所有者等に適切な管理を依頼する。 ・吉田町空き家等対策協議会を開催し情報共有を図る。	都市環境課
74	建築確認事務事業	建築確認事務費	218	・静岡県事務処理の特例に関する条例に基づき適正に事務処理を行った。 ・家屋建築時における道路後退用地を買収した。	現状のまま継続	・引き続き、静岡県事務処理の特例に関する条例に基づく事務について、県の事務処理手引きに基づき、円滑に処理する。	都市環境課
75	花のまち推進事業	花のまち推進事業費	1,673	・花街道事業については、里親の協力により、引き続き、幹線道路の花の維持・管理に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、引き続き、既存の補助金交付団体に対して補助金を交付するとともに、新たな管理団体や花に興味ある方々に補助金の説明を行う。	現状のまま継続	・花街道事業については、企業や若年層など新たな里親の発掘に努める。 ・吉田町花いっぱい活動補助金については、引き続き、新規団体の発掘と既存団体への補助金交付により、町民が花に囲まれたやさしい空間の中でゆとりある心を持って生活できる環境を創出する。	都市環境課
76	土地区画整理事業	土地区画整理事業費	47,035	・富士見土地区画整理事業については、令和8年度の組合解散に向けて事務を進めた。 ・浜田土地区画整理事業については、組合施工の施設整備工事(舗装工事)を実施するにあたり、町補助金と国庫補助金を有効に活用した。 ・西の宮雨水幹線改修工事については、2工区に分けて発注した。(2工区は繰越工事)	現状のまま継続	・浜田土地区画整理事業については、保留地を含む換地を大区画化することにより、道路や水路等の公共施設の不要な箇所を減らし事業費を削減することで、浜田土地区画整理組合の経営健全化を図る。 ・浜田土地区画整理事業の進捗を図るため、保留地を含む企業誘致に向けて必要な事業であることから、西の宮雨水幹線改修工事を推進する。	都市環境課
		西の宮雨水幹線整備事業費	87,780				
		支線成因寺川整備事業費	—				
77	町営住宅維持管理事業	町営住宅維持管理費	14,761	・引き続き、入居者が安心して生活できる住環境を確保するよう維持・修繕に努める。	現状のまま継続	・吉田町公営住宅等長寿命化計画(計画期間:令和5年度から令和14年度まで)に基づき、長寿命化対策を図る。 ・さくら団地については、外壁塗装工事のための設計業務委託及び改修工事業務委託を行う。 ・松下団地については、引き続き、空き状況を見ながら居住性改善工事を実施する。	都市環境課

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 2 公 園 ・ 緑 地 ・ 水 辺

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
78	緑化推進事業	緑化推進費	3,505	・第33回吉田町みどりのオアシスマつりは、引き続き、昨年度も好評であったワークショップなどを実施し、環境への意識向上を図るほか、来場者楽しんでいただけるよう吉田町広報大使であるひかりんちよさんの参加やミニ四駆コーナーの設置など充実した内容でイベントを実施した。 ・新築家庭苗木配布事業により、令和6年に住宅を建築した者に対して樹木苗木の配布を行った。 ・小山城まつり(11月)では、家庭における緑化啓発を目的として、吉田町花の会と連携し花苗等啓発物資の配布を行うことで、直接的に家庭レベルでの植栽活動の推進をする予定である。	現状のまま継続	・吉田町緑のオアシス条例に基づき、引き続き、緑化意識の普及に努める。また、緑豊かなまちづくりをさらに促進するため、引き続き、緑化イベントがより魅力あるものとなり、多くの来場者が訪れるよう今後も事業内容を充実させ、イベントを実施する。	都市環境課
79	公園維持管理事業	公園維持管理費	49,546	・公園を安全に利用できるよう、施設や遊具等の点検を年度の早期に行い、状況把握に努めている。 ・公園を快適に利用できるよう、優先順位をつけながら公園施設の修繕を実施している。	現状のまま継続	・公園を安全に利用できるよう、引き続き、施設や遊具等の点検を行い、計画的に修繕等を実施する。 ・公園を快適に利用できるよう、引き続き、管理業務委託を行い、維持管理を行う。	建設課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
80	河川維持管理事業	河川総務費	1,914	<ul style="list-style-type: none"> ・湯日川及び坂口谷川への流入箇所の水門について、県から受託し、水門管理を再委託している。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図っている。 ・大井川右岸堤防について、路肩部の除草作業を実施している。 ・自治会主催の一斉清掃時に住民主体の河川清掃への協力を得たことで、河川環境の保全を図った。 ・静岡県が実施するリバーフレンドシップ制度の周知を図り、新たなボランティア団体が生まれるよう取り組んでいる。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・湯日川及び坂口谷川にある水門について、県から受託し、水門管理を再委託する。 ・河川や海岸に関する同盟会等の活動を通して、河川や海岸の整備促進を図る。 ・大井川右岸堤防について、路肩部の除草作業を実施する。 ・自治会等と共に大井川堤防敷清掃を実施する。 ・河川における除草作業量を減少させるための対策について調査・検討する。 	建設課
		河川維持管理費	7,186				
81	公園整備事業	能満寺山公園整備事業費	1,688	能満寺山公園駐車場整備事業については、令和6年度に未相続による所有者不明により取得できなかった土地について調査を実施する。	現状のまま継続	引き続き、土地所有者の調査を進める。	建設課
		公園整備事業費	—				
82	保安林等保護環境整備事業	松くい虫防除事業費	4,995	<ul style="list-style-type: none"> ・保安林が公益的機能を発揮できるよう、引き続き、薬剤散布や予防伐倒を実施し、松枯れ防止に努めている。 ・保安林の下草刈り・枝払いや大幡川沿い桜並木の維持管理を行っている。 ・就労継続支援A型事業所へ松葉回収等を依頼し、農機連携を推進している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・松枯れ被害が蔓延しないよう、引き続き、薬剤散布、予防伐倒、松枯れ被害木伐倒を実施していく。 ・保安林内の支障木等伐採を行い、周辺住民の環境整備に努める。 ・大幡川沿桜並木の薬剤散布や枯木伐採の実施し、維持管理に努める。 	産業課
		保安林等保護環境整備事業費	6,757				

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ く り 分 野 3 道 路 網

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
83	都市計画道路整備事業	大幡川幹線道路整備事業費	23,057	<ul style="list-style-type: none"> ・大幡川幹線について、事業を円滑に進めるため地元や地権者からの意見を聴取する。 ・「志太榛原地区国道150号バイパス建設促進期成同盟会」及び「富士山静岡空港アクセス道路等建設促進期成同盟会」において、国及び県への要望活動を行う。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・大幡川幹線の事業進捗を図るため、他事業との事業調整を図るとともに、財源の確保を検討していく。 ・他市町と連携を図りながら国や県への要望活動を実施し、当町を含む広域的な道路整備の促進を図る。 	建設課
		都市計画道路事業負担金	1,498				
		中央幹線整備事業費	25,908				
84	道路改良事業	問屋堤線道路改良事業費	25,631	令和7年度の道路改良事業の実施予定はなし。	見直しの上で実施	道路改良事業の進捗を図るため、他事業との事業調整を図るとともに、財源の確保を検討していく。	建設課
		中瀬北原1号線道路改良事業費	6,819				
		谷川東塩谷線道路改良事業費	19,058				
		道路改良事業費	—				
85	道路維持管理事業	土木管理費	23,596	<ul style="list-style-type: none"> ・土木行政運営のための各種システム等の維持管理を行い、所掌事務等を円滑に処理することができている。 ・町が管理する道路における維持修繕工事及び街路樹剪定業務委託を発注し、道路環境の維持管理に努めている。 ・自治会や町民等から寄せられる土木事業等に関する要望について、速やかな対応ができている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・土木行政運営のための各種システム等の維持管理を行い、所掌事務等を円滑に処理する。 ・町が管理する道路における維持修繕工事及び街路樹剪定業務委託を発注し、道路環境の維持管理に努める。 ・自治会や町民等から寄せられる土木事業等に関する要望について、速やかに対応する。 	建設課
		道路維持費	54,239				
86	吉田町内道路舗装修繕事業	吉田町内道路舗装修繕事業費	110,569	<ul style="list-style-type: none"> ・舗装維持管理計画書に基づき、社会資本整備総合交付金、公共施設等適正推進事業債を活用し、舗装修繕の進捗を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に実施した路面性状調査の結果に基づき、計画的な舗装修繕を実施する。 ・表層部分の補修については、公共施設等適正推進事業債を活用し、修繕進捗を図る。 	建設課
		吉田町内道路舗装修繕事業費(繰越明許)	10,431				

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
87	橋梁維持補修事業	橋梁維持補修費	109,618	・定期的な橋梁点検について、業務委託及び職員により実施するよう進めている。 ・点検結果に基づき、補修等が必要となった橋梁の設計業務委託の発注準備をしている。 ・橋梁点検結果により早期措置段階となった橋梁の補修工事及び撤去工事の準備を進めている。	現状のまま継続	引き続き、定期的な橋梁点検を実施し、点検結果により補修等が必要となった橋梁については、計画的に補修設計及び補修工事を実施する。	建設課
		橋梁維持補修費(繰越明許)	25,429				

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 4 生 活 交 通

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
88	生活交通確保対策事業	生活交通確保対策費	76,431	・“ぎゅっと”カーよしだの実証運行による利用ニーズを把握する。 ・“ぎゅっと”カーよしだの継続的な運行を目指し、道路運送法第4条による運行へ移行するため、吉田町地域公共交通計画の改訂を実施する。 ・既存バス路線維持のため、地域間幹線系統確保維持費補助金により、バス路線の維持を図る。	現状のまま継続	・“ぎゅっと”カーよしだの継続的な運行を目指すため、本格運行への移行にあたり、吉田町地域公共交通計画に定める登録者数と年間利用回数などの目標が達成されるよう、実証実験期間中に最善の運行方法を模索する。	企画課

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 5 コ ミ ュ ニ テ ィ

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
89	自治会活動推進事業	自治振興費	16,122	・各自治会がそれぞれの特性を生かし自発的に行っている活動を支援するため、自治会運営費補助金を交付する。 ・町と自治会との連携や交流を図ることなどを目的として、各種研修事業を実施する。 ・令和6年度に創設から10年を迎えた「女性登用補助加算金」制度について、女性登用のさらなる増加を目的として、1自治会当たりの上限を撤廃する見直しを行った。(令和7年度から運用開始) ・加入促進に寄与する事業及び自治会活動の活性化に寄与する事業を実施する自治会に対し、それぞれ年間1事業まで100,000円を上限として加算する。(令和7年度から運用開始)	見直しの上で実施	・自治会組織、町内会組織などの円滑な運営のため、各種補助事業を確実に実施し、より自発的、積極的なコミュニティ活動が行われるよう支援していく。 ・「女性登用補助加算金」制度に加え、各自治会が加入促進事業や活性化事業に積極的に取り組むことができるよう支援していく。	総務課
		自治会運営費	4,584				
		地域施設管理費	2,650				
		町内会運営費	3,800				
		町内会活動費	8,538				
90	コミュニティ助成事業	コミュニティ助成事業費	2,100	・(一財)自治総合センターが実施する「令和7年度コミュニティ助成事業助成金」を活用し、北区自治会の備品整備を行っている。 ・各自治会を通じて、(一財)自治総合センターの「令和8年度コミュニティ助成事業」の要望調査を実施し、要望の取りまとめを行い、県へ申請する。	現状のまま継続	・「コミュニティ助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各自治会に周知を徹底し、事業を実施する。 ・令和8年度に大幡会館の建て替えを予定しており、令和8年度コミュニティ助成事業(コミュニティセンター)を申請予定。	企画課

第 4 章 多 様 な 人 々 が 快 適 に 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 6 多 文 化 共 生

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
91	多文化共生推進事業	多文化共生推進事業費	1,987	・引き続き、吉田町国際交流協会の活動を支援し、内容を充実させることで町内在住外国人と地域住民の共生を推進する。 ・「吉田町はじめてのにはんご教室」を実施するために、運営者(指導者、CD、母語支援者)を確保し、日本語サポーターの募集を行った。 ・多文化共生コーディネーターと協力し、国や県が案内する情報を積極的に収集し、町発行の情報誌やSNSを用いて外国人住民に必要な情報を発信する。	現状のまま継続	・吉田町国際交流協会に対して補助金の交付による支援を行うとともに、会員の募集及び事業内容の充実のため、活動をサポートしていく。 ・「吉田町はじめてのにはんご教室」について、令和7年度に実施した内容に改善を加えながら事業を継続していく。	企画課

第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり 分野7 男女共同参画・人権尊重

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の実施状況	令和8年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
92	男女共同参画推進事業	男女共同参画推進費	3,814	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に取り組んでいる男女共同参画週間に伴い、広報よしだへ記事を掲載するとともに、町内中学校生徒に男女共同参画について考えてもらう機会とするため啓発チラシの作成を予定している。 ・第4次吉田町男女共同参画プランが令和6年度で計画期間を終えたため、第4次プランにおける庁内の男女共同参画に関する取組の総括評価及び令和7年度の方針を確認している。 ・町内保育園の保護者向けによしだ未来フォーラムの講師アンケートを実施し、若年世帯が希望する講師を選定した。協力団体とともによしだ未来フォーラムの開催に向けて準備を進めている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで実施してきた啓発事業やセミナーの開催を継続するとともに、第5次吉田町男女共同参画プラン策定後の施策を推進していく。 	企画課
93	人権啓発活動推進事業	人権・地域改善費	333	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発活動については、「吉田町人権を守る会」、「人権教育講演会」を実施する。 ・隣保館運営については、地域の身近な会館として機能を維持し、引き続き、教養講座を実施するとともに、地域のニーズに合った新たなイベント等の開催を検討していく。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の人権尊重意識の高揚を図るため、引き続き、人権啓発活動を実施し、差別のない社会の実現に努めていく。 	福祉課
		神戸西会館運営費	4,110				
94	人権教育事業	人権教育事業費	4	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、人権教育講演会等を通して、地域住民が人権について考える場を提供することで、人権問題に対する意識の向上を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育講演会では、多くの住民に参加してもらえるよう講演内容などについて十分検討する。 ・担当職員の研修会等への参加を継続することで職員の資質向上を図っていく。 	生涯学習課

第4章 多様な人々が快適に暮らせるまちづくり 分野8 ユニバーサルデザイン

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の実施状況	令和8年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
95	ユニバーサルデザイン推進事業	ユニバーサルデザイン推進費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・特定財源を活用し、庁舎内の窓遮熱対策事業、町内保育園の窓遮熱対策事業、中央公民館の窓遮熱対策事業、さゆり保育園照明LED化事業のユニバーサルデザインの実施を予定している。 ・ユニバーサルデザインを推進するための体制整備を検討する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「公共施設ユニバーサルデザイン化及び省エネルギー・新エネルギー機器導入助成事業助成金」を効果的に活用できるよう、各課と連携を図り、引き続き事業を実施する。 ・「誰もが暮らしやすいまち」に向け、ユニバーサルデザインに関する情報を発信し、ユニバーサルデザインを推進する。 	企画課

第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

第 5 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 1 健 康 づ くり

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
96	保健衛生管理事業	保健衛生管理費	5,929	・職員の資質向上を図るため、研修に参加するとともに、職員間で情報共有を行っている。	現状のまま継続	・計画的な研修会への参加や定例の打合せを実施することで、専門職の資質の向上を図る。 ・保健センター施設の適切な維持管理、修繕を行い業務継続を図る。	健康づくり課
97	健康づくり事業	健康づくり事業費	2,700	・第3次健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画)策定のための実態調査アンケート及び現行計画の評価を踏まえ、次期計画を策定する。 ・第2次健やかプラン吉田21に基づき、健康づくり事業の促進を図っている。	現状のまま継続	・第3次健やかプラン吉田21(健康増進計画・食育推進計画・歯科保健計画)において策定した目標の達成に向け各種事業の促進を図る。	健康づくり課
98	健康増進事業	健康増進事業費	23,028	・町民の健康意識を掴むための取組(手作りリーフレット、ペジチェック等の視覚化できる簡易キットの活用など)や生活習慣を変える土台作りについて、定期的に課内検討を行い事業に反映する。 ・国の補助金を活用し、がん検診推進事業(がん検診自己負担金が無料となるクーポン券の交付)を乳がん検診40歳、子宮頸がん検診20歳の方に実施している。 ・健診未受診者について域包括支援センターや福祉課等関係機関と協働により支援介入する。 ・若年女性の子宮頸がん検診受診率向上を図るため、志太榛原地区医師会と契約し町外でも個別に医療機関で検診が受けられる体制を整備している。 ・広報、各種健(検)診会場等において、声掛けをしながら啓発リーフレットを配布する。	現状のまま継続	・検診や精密検査受診率の向上を図るため、効果的な個別勧奨の内容や検診の実施方法について随時見直しを行う。 ・生活習慣病予防のため、適切な保健指導や啓発ができるよう実施方法を検討し、継続して実施する。 ・令和7年度に策定する第3次吉田町健康増進計画に基づき、保健事業を実施する。	健康づくり課
99	感染症予防事業	感染症予防費	168,531	・予防接種や予防接種費の助成に関する情報を、新生児訪問等の母子保健事業内や広報よした、町公式LINE等で周知することで、対象者が必要な予防接種を確実に接種できるよう対応している。また、令和6年度に刷新したポスターを町内施設に掲示し、予防接種に関する周知を行っている。 ・令和7年度から帯状疱疹ワクチンが定期接種化となったため、関係例規の改正等や対象者への個別通知等を行った。	現状のまま継続	・接種対象者に対し、必要な予防接種の状況を確認かつ迅速に周知し、必要な時期に確実に接種を受けることができるよう対応する。 ・新生児訪問等の母子保健事業における対象者(又は対象者の保護者)との接触機会を活用し、未接種者や対象者に対する接種勧奨を実施し、接種率の向上を図る。	健康づくり課
	感染拡大防止事業費	—					
	新型コロナウイルスワクチン接種体制事業費(繰越明許)	234					
100	母子保健事業	母子保健衛生費	59,473	・妊娠期から育児期の方の多様なニーズや生活環境に的確に対応し、支援を必要とするすべての方が、ニーズに合わせた支援を受けられるよう、課内において、各事業担当間の情報共有とケース支援検討を毎月実施している。 ・令和7年度から1か月児健診について、医療機関と町間で情報共有を開始したことにより、早期に乳児の身体状況や育児支援の必要性を把握し、支援が必要な家庭に早い段階で介入している。 ・妊婦の健康管理の充実を図るため、妊婦健康診査状況を確認し、妊婦訪問を実施している。 ・制度や他課の事業内容についての課内勉強会を定期的に行い、相談支援に係るスキルアップを図り、個々の実情に合わせた継続的な支援に努めている。	見直しの上で実施	・各種健診、相談の受診率向上と事後フォローが必要な親子へのサポート体制強化に向けて、課内検討や関係機関と話し合いにより支援方法を見直し改善を図る。 ・出産後から就学前まで切れ目のない支援体制の充実に向けて、国補助金を活用した「1か月児健康診査」の継続実施と、新規事業として令和8年度から「5歳児健康診査」を実施する。 ・よしこ応援パッケージと妊婦のための支援給付事業を通して、妊娠期から育児期に定期的に関わり、支援や情報提供を継続的に行う。 ・令和8年度にこども未来課に設置予定である『こども家庭センター』について、協働して支援体制の強化を図る。	健康づくり課
	妊娠・出産包括支援事業費	1,533					

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の実組状況	令和8年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
101	食育推進事業	食育推進事業費	277	・健康づくり友の会会員に対し、より効果的に自主的な活動ができるよう、生活習慣病予防等のための献立の提供や調理実習等の研修を行っている。 ・幅広い世代の町民に対して食に関する情報提供ができるよう、町ホームページ、町公式LINE、広報よしだ、FM島田、各種検(健)診や教室といった健康づくり事業のなかで人が集まる場を活用して、リーフレットや見える化できる簡易キットを用いて個々の行動変容に繋がる情報を発信している。	現状のまま継続	・第3次吉田町食育推進計画において策定した目標の達成に向けて各種事業の促進を図る。(計画年度 令和8年度から17年度) ・保育園、幼稚園、学校、食に関わる団体、企業等と連携・情報共有し、食育推進計画に基づいた食育事業を実施する。 ・健康づくり友の会会員や保健協力委員に研修を実施するなど、住民団体と連携し、食に関する知識を地域に普及する。	健康づくり課

第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり分野2 地域医療

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の実組状況	令和8年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
102	地域医療体制整備事業	地域医療対策事業費 地域医療対策事業費(繰越明許)	6 50,000	・吉田町診療所等開設補助制度について、制度利用を検討している医師の相談に応じている。 ・地域医療をささえるはいなんの会の役員会に参加し、令和7年度の計画について助言するなどの支援を行っている。	現状のまま継続	・町民が、身近な地域で安心して医療を受け続けられるよう、町内に新たな診療所を誘致することを目的とし、吉田町診療所等開設補助制度を広く周知するため、学術大会等のイベントに参加していく。	健康づくり課
103	榎原総合病院組合事業(負担金)	榎原病院負担金	402,085	・令和6年度に経費の負担割合の見直しを行い、令和7年度から適用している。	現状のまま継続	・負担金の継続により、通常医療のみでなく、地域の中核となる公設の病院として、夜間救急や災害時の救護病院として、あるいは、在宅医療を支援する病院として機能させる必要があるため、現状を維持していく。 ・引き続き、負担金割合に基づき、榎原総合病院の運営に係る経費を負担する。	健康づくり課
104	救急医療体制整備事業	救急医療対策事業費	7,464	・救急医療体制の周知や医療機関への正しいかかり方についての啓発を継続している。	現状のまま継続	・志太榎原地域の救急医療体制を維持するとともに、関係市町で課題等について、協議を続け、より良い体制の整備に努める。 ・救急医療体制の周知や医療機関への正しいかかり方についての啓発を実施する。	健康づくり課
105	災害時医療救護対策事業	災害時医療救護対策事業費	156	・医療救護計画及び医療救護活動マニュアルに基づき、関係機関等と連携し、医療救護訓練を実施する。 ・災害時の情報連携システムについて、担当を含めた課員の操作知識を高める。	現状のまま継続	・救護所に必要な物品を見直し、引き続き、整備を進める。 ・町医療救護計画及び町医療救護活動マニュアル、健康支援マニュアル等の内容を検討し、必要に応じて見直しを行う。 ・関係機関の協力を得て、医療救護訓練を実施する。	健康づくり課

第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり分野3 地域福祉

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の実組状況	令和8年度の方角性		担当課
		予算事業名	決算額(千円)				
106	福祉総務事業	福祉総務費 住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業費 物価高騰生活支援臨時給付金給付事業費 低所得世帯重点支援給付金給付事業費(繰越明許)	1,404 53,012 28,215 68,491	・複合的な課題を抱える世帯に対する個別支援の充実を図るため、ワンストップ相談窓口をはじめ、既存のケア会議等を活用し、多機関連携及び地域力強化に努めている。 ・庁舎内の連携を強化するため、他部署の会議に積極的に参加し、情報共有を行っている。	現状のまま継続	・地域共生社会の実現を目指し、行政のみならず多様な事業体と協働し支援が必要な世帯に支援が行き届くよう体制を構築する。	福祉課
107	戦没者追悼事業	戦没者追悼事業費	726	・積極的に吉田町遺族会の理事会(役員会)に出席し、事務連絡等を行っていることで、効率的な調整や協議を実施している。	現状のまま継続	・引き続き、吉田町遺族会と連携し、継続して実施する。	福祉課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
108	地域福祉計画推進事業	地域福祉計画策定事業費	35	・重層的支援体制の整備に向け、庁舎内での合意形成を行う。	現状のまま継続	・重層的支援体制の実施に向け、関係機関との調整を行う。 ・吉田町地域福祉推進委員会を開催し、定期的に地域福祉施策に係る進捗状況を点検し、当町の地域課題に即した福祉施策を検討する。 ・第5期地域福祉計画策定に係るアンケート調査(令和8年度)を実施する。	福祉課
109	成年後見制度中核機関運営事業	成年後見制度中核機関運営事業費	5,206	・令和7年度から「吉田町成年後見サポートセンター」の名称で中核機関を運営しており、名称や制度等の広報・周知を行っていく。 ・引き続き、家族等からの相談対応の実施及びケース会議の開催により、成年後見制度の利用につなげる。	現状のまま継続	・引き続き、吉田町社会福祉協議会に中核機関運営業務を委託し、該当者にとって最善の対応ができるようにする。 ・該当者やその家族等が相談しやすく、制度利用につなげやすい、身近に感じられる中核機関となるため、担当者のスキルアップを図る。	福祉課
110	地域福祉活動推進事業	社会福祉協議会補助金	37,828	・社会福祉協議会が地域福祉の中核的役割を担う組織として、将来に向けた職員の人材育成に取り組む。 ・福祉活動への住民の参加を促進するため、社会福祉協議会において、福祉出前講座などの福祉体験学習のサポートや、ボランティア講座などの人材育成事業の実施に取り組むほか、長期休みを利用した参加型の取組を継続していく。 ・社会福祉協議会のウェブサイト等を活用し、講座等開催を広く周知していく。	現状のまま継続	・社会福祉協議会が地域福祉の推進の中核的役割を担い、福祉活動の担い手の育成と関係機関との連携を図るため、引き続き、補助金交付を行っていく。	福祉課
111	民生委員・児童委員活動事業	民生・児童委員活動費	6,323	・視察研修を実施し、定例会以外で委員がコミュニケーションを図る機会を設け、委員同士が相談等しやすい環境づくりに取り組んでいる。 ・定例会における研修会において、地域福祉の担い手としての知識の習得に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、定例会等において、研修会や委員相互の情報交換の場を設け、経験年数の多少に関わらず、委員全員が適切な相談対応ができる体制を整えていく。 ・広報よしだ等を活用し、民生委員児童委員協議会の活動の周知に取り組む。	福祉課

第5章 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり 分野4 社会保障(国民年金・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・生活保護)

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
112	国民年金事務事業	国民年金事務費	422	・法定受託事務・協力事務を適切かつ確実に処理している。 ・収納率向上のため、年金事務所と連携し、年金免除申請の案内を実施する。 ・年金制度をまとめたチラシを作成し、手続きに来庁された方に配布することで年金制度の周知に努めている。	現状のまま継続	・法定受託事務・協力事務を、適切かつ確実に処理する。 ・被保険者に対し、広報等を活用しながら、年金制度の周知及び理解に努める。 ・収納率向上のため、年金事務所と連携体制の強化を図るとともに、口座振替やクレジットカード納付の利用勧奨を積極的に行う。 ・マイナポータルやねんきんネットの利用を積極的に案内し、加入者の利便性を図るよう努める。	町民課
113	国民健康保険事業会計繰出金	国民健康保険事業会計繰出金	127,064	・国民健康保険事業を適正かつ円滑に行うため、基準内の繰出しを実施する。	現状のまま継続	・国民健康保険事務費に係る一般会計繰出しに要する費用については、国の動向や制度改革を注視していく。	町民課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
114	国民健康保険事業(特別会計)	総務費	17,373	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナ保険証が円滑に利用できるような資格の適正管理を行うとともに、丁寧な制度周知を継続する。 ・人間ドック助成の電子申請を新たに開始し、被保険者の利便性の向上に努めている。 ・特定健診の受診率を高めるため、AIを活用した情報分析による受診勧奨通知については対象者と送付時期を見直しの上実施する。また、県との共同により特定健診会場でペジチェックや栄養指導を実施し、健康に対する関心を高め、受診行動につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、重複多受診者の分析を行い、対象者へ適正受診を勧奨する。また、ジェネリック医薬品の推奨については、国の目標値(80%以上)を常に達成するよう目指す。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費抑制に向け、特定健康診査の受診率向上を図り、早期に疾病を発見し予防することを目指す。 ・生活習慣病予備群には特定保健指導を実施し、対象者の健康増進及び医療費の抑制につなげる。 ・医療費の適正化を図るため、引き続き、重複多受診防止、ジェネリック医薬品の推奨(目標使用率:80%以上)等を行う。 ・インセンティブによる交付金事業(保険者努力支援事業)に対応するため、収納率の向上及び保健事業の強化を図る。 ・マイナンバーによる情報連携を推進し、更なる事務の効率化及び住民の利便性の向上を図る。 ・被保険者証の新規発行終了に伴い、マイナ保険証の利用率推進を強化する。 ・静岡県国民健康保険運営方針においては令和9年度までに賦課方式の統一を進めているため、令和8年度中の検討及び改定を行う必要がある。 	町民課
		保険給付費	1,809,517				
		国民健康保険事業費納付金	727,596				
		共同事業拠出金	0				
		財政安定化基金拠出金	0				
		保健事業費	25,181				
		基金積立金	22,088				
		諸支出金	20,084				
		予備費	0				
115	後期高齢者医療事業	後期高齢者医療事業事務費	352,620	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、引き続き、適正に事業を実施する。 ・県単位の後期高齢者医療広域連合が事業主体となっている制度であるが、町が担当する業務については、マニュアルに沿い、適正かつ効率的に事務処理を行う。 ・来庁時に他の手続き等の未納及び未納がないか確認し、被保険者の利便性を向上させる。 ・保険料未納者に納付勧奨及び自宅訪問を行い、収納率向上を図る必要がある。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業において健康状態不明者対策と通いの場におけるフレイル予防を行い、健康状態の現状把握やフレイル対策を実施する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・保険料の納付を含む制度の周知を図り、保険料の収納率向上に努める。 ・引き続き、後期高齢者における健康診査受診率の向上に努める。 ・高齢者の保健事業においては、国の指針に従い、関係各課と連携して事業を展開していく。また、取組により把握された高齢者の状況に応じて、健診や医療の受診勧奨、介護サービスの利用勧奨を行う。 	町民課
		後期高齢者医療広域連合納付金	400,021				
116	後期高齢者医療事業(特別会計)	諸支出金	1,336	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の医療を確保するため、高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、適正に事業を実施する。 ・引き続き、保険料滞納者に対する保険料納付勧奨を行う。 ・普通徴収の方への口座振替の利用勧奨を継続して行う。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療制度は現行制度が継続されるため、今後も適正に事業を行う。 ・収納率向上のため、未納者への対応を継続して実施する。 ・標準化により納付書や通知書の様式が変更されるため、被保険者に対して広報を行う。 ・令和8年度(令和8年8月1日～)からマイナ保険証の登録の有無により「資格情報のおしらせ」又は「資格確認書」のいずれかを交付することとなるため、被保険者が安心して医療を受けることができるよう、引き続き広報やパンフレット等により制度の周知を図る。 	町民課
		予備費	0				
		介護保険事業会計繰出金	329,019				
117	介護保険事業会計繰出金事業	介護保険事業会計繰出金	329,019	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行い、第9期介護保険事業計画に沿って、事業を実施する。 ・低所得者保険料軽減制度に基づく負担割合における繰り出しを行う。 	現状のまま継続	第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、介護保険制度に基づいた割合で繰り出しを行う。	福祉課
118	低所得者利用者負担額軽減措置事業	低所得者利用者負担額軽減措置事業費	14	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人等による利用者負担軽減制度に基づき、事業を実施する。 ・令和6年度の対象者は4人(施設入所者1人、在宅者3人) 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づく事業であり、低所得者の負担軽減を図るため、現状のまま継続する。 	福祉課
		低所得者保険料軽減事業費	—				

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
119	生活保護事業	生活保護費	330	・引き続き、行旅人及びホームレス等への旅費、終末期支援等を行う。 ・支援が必要な対象者に対し、関係機関に情報提供を行い、必要な支援を受けられるよう調整を行う。	・本事業は生活困窮者等に対する突発的な資金援助に資するものであり、今後も継続させる必要がある。 ・生活保護制度の利用に至る前に、生活保護実施機関である静岡県中部健康福祉センター並びに生活困窮者自立支援機関である社会福祉協議会と連携し、生活困窮者等に対するセーフティネットの強化を図る。	福祉課

第 5 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 5 子 育 て 支 援

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
120	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業費	938	・保健センターや児童館と相互に連携し、利用者に子育て支援センターの周知を図っている。 ・親子が興味を持てるようなイベントを企画し、子育て支援センター利用のきっかけ作りを行い、利用者の増加を目指している。 ・子育て支援センターが立ち寄りやすく気軽な交流の場となるように人的・物的環境を整えている。	・今後も利用者の年齢やニーズを的確に捉え、各種事業を充実させるとともに、事業の広報にも力を入れる。 ・事業数や実施場所を工夫し、子育て支援センター利用者数の増加に努める。	こども未来課
121	吉田町次世代育成支援(児童手当事業)	児童手当費	486,378	・定期的な事務処理を行い、児童手当受給者へ児童手当支給事務を実施している。 ・児童手当の定期払いについて、「広報よした」に加えて町ホームページ及び町公式LINEに掲載し、周知を図っている。 ・児童手当の現況届について、郵送による提出にも対応している。 ・標準化システムの導入に向け、システムベンダーとの打合せを行い準備を進めている。	・児童手当法に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
122	こども医療費助成事業	こども医療費助成事業費	145,128	・助成対象年齢を満18歳に達した後最初の3月31日までとし、県補助対象外である自己負担金については町が補助するとともに、適切な事務処理を行うことで医療費助成を行っている。	・静岡県こども医療費助成事業費補助金交付要綱及び吉田町こども医療費助成要綱に基づき、適切に事務処理を行い事業を推進する。	こども未来課
123	ひとり親家庭等対策事業	ひとり親家庭対策事業費	4,298	・ひとり親家庭等医療費助成の更新申請について、対象者へ個別通知により申請を促している。 ・個別通知にひとり親家庭を対象とした講座や事業などのチラシを同封することで、ひとり親家庭が活用できる各種制度の情報提供を行っている。 ・ひとり親の放課後児童クラブ利用者のため、児童扶養手当受給者への利用料減免を継続して行っている。	・ひとり親家庭の日常生活及び経済的安定を図るため、相談事業と協働し、自立に向けた支援を行う。また、他機関と連携し、自立に向けた情報提供を行う。 ・児童扶養手当及びひとり親家庭等医療費助成は、国や県の施策に基づく事業であるため、適正な事務処理が行われるよう努める。 ・制度の変更に対応し、県と調整しながら事務処理を適正に行うよう努める。	こども未来課
124	児童福祉事業	児童福祉費	10,515	・妊娠届出者に対して対してファミリー・サポート・センターの周知やリクエスト会員のニーズに対応できるよう会員同士の調整を行っている。 ・今後開設を予定している児童厚生施設等の建物及び用地を取得している。	・子育て支援センター等においてファミリー・サポート・センターの主旨や活動の周知を行い、会員数や利用実績を増やす。 ・継続して講習を実施し、サポート会員のスキルアップを行う。 ・児童厚生施設等(児童館、児童クラブ)建物の改修工事を実施するための設計を行う。	こども未来課
		ファミリー・サポート事業費	350			
		子育て世帯生活支援特別給付金事務費(ひとり親世帯分)	—			
		子育て世帯生活支援特別給付金事務費(ひとり親世帯以外分)	—			

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
125	保育園管理運営事業	保育園管理費	343,191	・保育士等の確保に努め、安定的な保育園の運営を行うことで、待機児童「0人」を維持する。 ・保護者の雇用形態の変化等により、多様化した保育ニーズに対応するため、延長保育や一時預かり等の保育サービスを実施し、保護者の子育てと仕事の両立を支援することで、安心して子育てができる環境の整備を図る。	見直しの上で実施	こども未来課
		さくら保育園運営費	42,649			
		すみれ保育園運営費	29,702			
		さゆり保育園運営費	40,674			
		わかば保育園運営費	26,990			
126	児童発達支援事業	こども発達支援事業費	6,704	・定期通園及び並行、親子通園の利用を希望する保護者に対し、利用の仕方の周知が定着しつつある。(保健センター、保育園等の施設へ利用の希望を伝える→体験及び見学→福祉課への手続き方法→利用調整会議) ・センター化を行うため、関係機関と詳細を詰めたが来年度の設置に向けて進めている。	見直しの上で実施	こども未来課
127	放課後児童健全育成事業	放課後児童健全育成事業費	18,775	・支援員との接点を増やし、状況確認の頻度を上げることで、不満や要望の汲み上げ、それらに対して迅速な対応を行い、働きやすい環境づくりを心掛けている。 ・様々な特性を持つ児童への対応が必要となっていることから支援員の確保、支援員の資質向上のために研修会等へ積極的な参加を促している。また、必要に応じて職員が手伝いに入ることにより、安全な放課後児童クラブの運営に努めている。	見直しの上で実施	こども未来課
		放課後児童クラブ建設事業費	—			
128	児童館運営事業	児童館運営費	25,813	・児童館から離れた場所に住む児童も利用できるよう「移動児童館」を北オアシスパーク、住吉会館又は山八公会堂で毎月1回ずつ(8月を除く)実施している。 ・参加したくなるような講座等を企画し、じどうかんだより、町ホームページ、ポスター等により各種事業やイベントの周知を行っている。 ・夏まつりなどのイベントを実施している。	現状のまま継続	こども未来課
129	児童遊園整備事業	児童厚生施設整備費	552	・遊具の定期点検を実施し、必要に応じて修繕を行っている。 ・快適な環境整備のため、樹木の伐採、草刈り等を各町内会等と協力して実施している。 ・高枝等の職員の対応が難しい剪定等の実施については、事業者へ依頼し整備を行っている。	現状のまま継続	こども未来課
130	子ども会育成連合会助成事業	子ども会育成連合会助成事業費	400	・子ども会が実施する活動に対し補助金の交付や、イベント等の活動支援を行っている。	現状のまま継続	こども未来課
131	児童虐待防止事業	児童虐待防止事業費	287	・虐待の発生予防、早期発見、早期対応、重症化や再発防止を図るため、関係機関と連携した相談窓口である子ども家庭総合支援拠点の強化に努めている。 ・こども家庭センターの設置準備のため、システム改修等を行っている。	見直しの上で実施	こども未来課

第 5 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 6 高 齢 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
132	介護保険事業(特別会計)	総務費	46,205	・令和6年度が開始年度の第9期介護保険事業計画に基づき進捗を図っている。 ・地域包括ケアシステムの深化・推進を図るため、総合事業を推進している。	現状のまま継続	・第10次高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画に基づき、事業を実施する。	
		保険給付費	1,869,318				
		基金積立金	41,164				
		地域支援事業費	129,100				
		健康福祉事業費	1,962				
		諸支出金	56,329				
		予備費	0				
133	高齢者福祉推進事業	高齢者見守り体制整備事業費	31	・在宅福祉サービスについて、個別の相談を行うとともに、対象者や関係機関に対し、研修会等で積極的に周知啓発を行う。	現状のまま継続	・高齢者見守りネットワーク事業については、今後も協力事業所数を増やすとともに、見守り方法の改善等により、見守り体制の強化に努める。 ・在宅福祉サービスについて、引き続き、対象者や関係者に広報を行うことで、サービスを必要としている方へサービスの提供を行う。 ・第11次高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画(計画期間:令和9～11年度)の策定を行う。	
		ひとり暮らし高齢者等対策事業費	174				
		高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定事業費	—				
134	高齢者社会参加推進事業	高齢者社会参加推進事業費	10,573	・高齢化がますます進展していくと見込まれる中、シルバー人材センターが果たす役割は日増しに大きくなってきている。これまで高齢者が培ってきた経験を社会に還元するとともに、高齢者の就業機会の提供を推進するため、世の中の情勢にも配慮し必要な経費を補助していく。 ・さわやかクラブが実施している高齢者の生きがいと健康増進、地域社会のための事業等に対して補助金の交付を継続する。	現状のまま継続	・これまで高齢者が培ってきた経験を社会に還元するとともに、高齢者の就業機会の提供を推進するため、シルバー人材センターへの補助金交付による支援を継続する。 ・高齢者の地域活動の推進と福祉の向上に資するため、さわやかクラブへの補助金交付による支援を継続する。	福祉課
135	高齢者福祉事業	福祉介護手当支給事業費	1,270	・敬老事業における「敬老記念品の贈呈」について、引き続き、商品券の郵送による方法で実施する。 ・介護の入門的研修について、引き続き、効果的な広報を検討して実施する。	現状のまま継続	・敬老事業における「敬老記念品の贈呈」について、引き続き、商品券の郵送による方法で実施する。 ・福祉介護手当及び在宅支援生活品助成について、対象者及びその家族の経済的な負担軽減のため、引き続き、実施する。 ・介護の入門的研修について、引き続き、幅広い広報を実施し、参加者の募集を行う。	
		老人福祉対策費	966				
		敬老事業費	1,670				
		老人保護措置費	5,098				
136	高齢者福祉施設管理事業	社会福祉施設管理事業費	118,776	・5つの施設について、指定管理者年度協定書を締結し、管理している。	現状のまま継続	・各施設の管理運営について、指定管理者制度を継続して行う。 ・各施設の修繕については、優先順位を考慮して計画的に行う。	福祉課

第 5 章 誰 も が 健 康 で い き い き と 暮 ら せ る ま ち づ くり 分 野 7 障 害 者 福 祉

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
137	障害者自立支援施設管理事業	障害者自立支援施設管理事業費	4,502	・引き続き、指定管理者との連携を密にすることで適切な施設管理に努めている。	現状のまま継続	・引き続き、施設管理者との連携を密にし、施設の適正な管理に努める。	福祉課
138	障害者自立支援事業	心身障害者自立支援事業費	689,168	・吉田町障害者(児)福祉推進委員会の各部会を開催し、地域課題の抽出をはじめ地域の支援者との連携体制の構築を図っている	現状のまま継続	・吉田町障害者(児)福祉推進委員会の各部会を開催し、地域課題の抽出をはじめ、地域の支援者との連携体制の構築を図っている。 ・令和8年度に「子ども発達支援センター」の開設を予定する。	
		地域生活支援事業費	44,803				

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
139	障害者更生援護事業	心身障害者福祉費	568	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者相談員に相談業務を委託(令和7年4月1日～令和9年3月31日)し、相談会を開催している。 ・重度障害者医療費助成や移送費助成が必要な人に対して、適切な助成を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、重度障害者医療費助成や移送費助成を必要とする人が、本制度を理解できるよう、制度の周知を行う。 ・令和8年度に第8期吉田町障害福祉計画第4期吉田町障害児福祉計画を策定する。 	福祉課
		心身障害者更生援護費	47,755				
140	障害者在宅福祉事業	心身障害者施設等負担金	20,148	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者施設の運営支援を図り、サービスを必要とする障害児を計画的・継続的に支援していく。 ・駿遠学園管理組合の担当課長・担当者会議において、改修予定箇所等の説明を受けた。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の運営に対して負担金を支出する。 ・駿遠学園の改修に対して負担金を支出する。 	福祉課

第6章 次代を担う心豊かな人を育むまちづくり

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 1 幼 児 教 育

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
141	幼児教育推進事業	幼児教育振興事業費	4,101	・「架け橋カリキュラム」の作成を意識した協議を実施している。	見直しの上で実施	・実施委員会委員が町内の幼児教育の実践状況を実際に目で見る機会を増やし、架け橋カリキュラムの作成を目的としてさらなる幼児教育の充実を図る。	学校教育課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 2 学 校 教 育

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度取組状況	令和8年度方向性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
142	教育委員会運営事業	教育委員会費	1,178	・教育大綱及びTCPTリビンプランに沿った教育施策を円滑に実施するため、総合教育会議及び教育委員会において充実した協議を行えるよう会議運営をしている。 ・学校現場に即した教育施策を協議するため、学校訪問等を実施している。	現状のまま継続	・教育委員会の権限に委ねられている事項は、引き続き、円滑な執行に努めるとともに、新たな教育施策の執行に当たっては、総合教育会議及び教育委員会において合意した方針のもとに進める。 ・教育についての知識及び見聞を広めるため、視察研修を実施する。	学校教育課
143	事務局事務事業	事務局事務費	2,197	・学籍管理、就学時健康診断の実施、経常経費の執行及び関係団体への負担金の納入等を適正に行うことで、適切な教育委員会事務局の運営を行っている。	現状のまま継続	・教育委員会の諸活動を円滑に実施するために、引き続き、適切な教育委員会事務局の運営を行う。	学校教育課
144	教職員等教育活動補助事業	教職員等負担金・補助金	3,515	・中学校体育連盟大会運営負担金等の支出や中学校部活動補助金の交付を行い、教職員の指導力強化や部活動を通じた生徒の育成等を図っている。	現状のまま継続	・部活動補助事業については、対象者、対象経費等を確認し、必要な経費を適切に補助する。 ・部活動の地域展開の動向を注視し、要綱の改正について検討する。	学校教育課
145	住吉小学校維持管理事業	住吉小学校維持管理費	34,389	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
146	中央小学校維持管理事業	中央小学校維持管理費	64,045	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
147	自彊小学校維持管理事業	自彊小学校維持管理費	42,295	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
148	吉田中学校維持管理事業	吉田中学校維持管理費	58,286	・施設の修繕や設備の点検、教育材料の購入等を適切に行い、教育環境の充実を図っている。	現状のまま継続	・引き続き、確かな学力・豊かな心・健やかな体を培うことができるよう、良好な教育環境を整備する。	学校教育課
149	小・中学校要保護・準要保護児童生徒就学援助事業	住吉小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,645	・経済的理由によって就学困難な児童生徒に必要な援助を行い、保護者負担を軽減し、児童生徒が等しく円滑に教育を受けることができている。	現状のまま継続	・今後の国及び近隣市町の動向を注視しつつ事業を実施するとともに、入学説明会における周知等を行い、引き続き、適切な援助を実施する。	学校教育課
	中央小学校要保護・準要保護児童就学援助費	2,189					
	自彊小学校要保護・準要保護児童就学援助費	1,169					
	吉田中学校要保護・準要保護児童就学援助費	5,506					
150	小・中学校特別支援学級事業	住吉小学校特別支援学級費	572	・必要に応じた教育材料費の購入等を行い、特別支援教育の充実及び教育環境の向上を図っている。 ・特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、要領等に基づき、適切に経済的な支援を行っている。	現状のまま継続	・特別支援学級の教育環境を充実させるため、児童生徒の特性を鑑み、必要な教材等を提供する。 ・「特別支援学級への就学奨励に関する法律」に基づき、特別支援学級に在籍している児童生徒の保護者に対し、引き続き、適切に経済的な支援を行っていく。	学校教育課
	中央小学校特別支援学級費	844					
	自彊小学校特別支援学級費	646					
	吉田中学校特別支援学級費	1,629					

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
151	教育振興事業	教育振興事業費	38,787	・「深い学び」を授業で実践するための教職員研修を実施している。	現状のまま継続	学校教育課	
		英語教育推進事業費	19,802				
		確かな学力定着事業費	39,271				
		小中一貫教育振興事業費	217				
152	小・中学校健康診断事業	小・中学校健康診断費	11,039	・児童生徒健康診断やフッ素洗口事業の適切な実施体制を整えた上で、適正に健康診断等を実施している。 ・吉田町立学校職員衛生委員会における意見等を踏まえ、労働安全衛生管理体制の整備や町内全小中学校に勤務する教職員を対象としたメンタルヘルスチェックの実施など、学校職員の職場における安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進している。	現状のまま継続	・労働安全衛生法及び吉田町学校職員安全衛生管理規定に基づき、健康診断等を通して健康管理を行う。 ・児童生徒が安全安心な学校生活を送ることができるよう、国、県、町健康づくり課の施策・動向に注視しながら、適切な健康管理が行えるよう事業を行う。	学校教育課
153	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(共同調理場)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(給食施設費)	142,947	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。	学校教育課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 3 地 域 教 育

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
154	地域教育推進事業	地域教育推進事業費	4,838	・地域住民が主体的に企画・運営できるよう、各団体への支援を継続して行っている。 ・地域の高校生が地域の子どもを育む活動に参加できるよう、ボランティア募集を積極的に行っている。 ・家庭教育学級事業において、開級式や閉級式の間を活用し、家庭教育の重要性について伝えていく。	現状のまま継続	・各団体に継続した支援を行うとともに、地域の大人が地域の子どもを育てる体制の強化を図る。 ・地域教育の重要性について、イベントや会議等を活用し、参加者に伝えていく。 ・学校と連携を図り、家庭教育の重要性を親へ呼びかける。	生涯学習課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 4 青 少 年 健 全 育 成

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方性	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
155	青少年健全育成事業	青少年健全育成事業費	1,022	・サマーステイ事業では、普段は体験できない自然の中での活動や仲間と協力する活動を実施している。 ・笑顔いっぱい運動事業により、現状の取組を継続していくことで、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながっている。今年度も本事業を継続し、学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」をさらに定着させ、地域活動や学校応援団など他事業等でも「黄色のベスト」を活用することで、本事業を更に周知させていく。	現状のまま継続	・笑顔いっぱい運動事業により、現状の取組を継続していくことで、「地域の子どもは地域で育てる」という青少年健全育成の環境づくりにつながると考えられるため、本事業を継続していく。学校・家庭・地域の中に「黄色のベスト」を定着させ、地域活動や学校応援団など他事業等でも「黄色のベスト」を活用することで、本事業を更に周知していく。 ・引き続きサマーステイ事業では、自然体験活動を中心に、日常生活では味わうことのできない経験をすることができるよう活動を考えていく。	生涯学習課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 5 生 涯 学 習

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
156	社会教育総務事業	社会教育総務費 社会教育委員費	3,709 —	・社会教育関係の様々な団体の研修会等に積極的に参加し、情報収集を行うことで、職員等の資質の向上に努める。 ・継続して社会教育団体で構成するプラットフォームを実施し、地域で子どもたちを育む環境の充実を図る。	現状のまま継続	・更なる職員等の資質向上を図るため、研修会に参加する。 ・多くの社会教育関係団体がプラットフォームに参加し、互いの活動を知り、連携・協力することで、社会教育事業の充実を図る。	生涯学習課
157	生涯学習推進事業	生涯学習推進事業費	5,181	・町民の学習ニーズを把握するために、参加者アンケート調査を実施し、ニーズに合った様々な分野の講座を開設し、参加者数を増やしていく。 ・障害者学習講座を業務委託をすることで障害者が必要としている学習の機会を提供していく。	現状のまま継続	・継続して町民の学習機会を提供するため、参加者アンケート等を実施し、学習ニーズの把握に努める。 ・誰もが平等に学習機会を持てるよう、障害者に対し、生涯学習の活動支援を行う。	生涯学習課
158	中央公民館活動事業	中央公民館活動費	1,343	・シニアカレッジでは、毎回実施しているアンケートの結果を踏まえ、講座内容を協議・検討し、受講者の希望に沿った学習機会の提供に努めていく。	現状のまま継続	・新たな知識の習得や仲間づくりを通じてシニア世代がいきいきと充実した生活を送ることができるよう、引き続き、魅力ある講座の開催に努め、学習機会の充実を図る。	生涯学習課
159	中央公民館運営事業	中央公民館運営費	19,297	・災害時においても中央公民館の事業を継続して実施できるように非常用電源設備を更新することにより、快適な学習環境を整える。	現状のまま継続	・一層の節約を図りながら、利用者が安全で快適に学習活動が行えるよう施設管理を行う。	生涯学習課
160	学習ホール運営事業	学習ホール運営費	11,679	・利用者が快適に使用できるよう、施設の適正な維持管理に努める。 ・来年度以降に計画的な改修を実施するため、昨年度実施した学習ホール他2施設修繕計画支援業務委託に基づき、修繕計画の策定を行う。	見直しの上で実施	・安全、安心に利用できる施設にすべく、長寿命化計画に基づき、施設改修を実施していく。	生涯学習課
161	図書館管理事業	図書館管理費	119,316	・施設の経年劣化に伴う修繕が頻繁であることから、安全性・機能性を確保するために適切な修繕を実施している。 ・図書館周辺の環境美化のため、職員で除草作業を定期的の実施している。	現状のまま継続	・図書館機能を活用した「地域の知の拠点」づくり推進のため、建物、設備やIT機器等の性能及び機能を常時適切な状態に保つよう、維持管理に努める。	生涯学習課
162	図書館活動推進事業	図書館活動推進費	8,943	・子どもの読書活動の推進を目的とし、児童生徒と保護者を対象にしたアンケート調査を実施の上、調査結果を反映させた読書活動推進計画の策定を関係各所と連携を図りながら行う。 ・ブックスタート事業や子育て支援施設での読み聞かせ等、サービスの拡充について検討をしている。 ・現行の図書館運営実態に合わせ、図書館関係規則の改正に向けた検討を行う予定である。 ・読書・リアフリーコーナー「りんごの棚」を活用し、誰でも読書を楽しめる図書等を提供している。今後も、関連資料を継続して購入する予定である。 ・県の各部署や福祉課・都市環境課・企画課と連携した展示を行う予定である。	見直しの上で実施	・令和7年度中に策定予定の子ども読書活動推進計画に基づき各取組を実施し、子どもたちの読書活動の充実を図る。 ・図書だけでなく、電子情報も含めた資料提供、図書館運営、行事を検討し、実施していく。 ・講座を実施し、英語多読の資料を活用した事業を展開する。 ・「りんごの棚」の資料の充実、サビエ図書館の利用開始等、読書・リアフリー法の対応を拡充していく。 ・著作権法改正による業界の動向を注視しながら、新たなサービス展開に向けて調査を行い、環境を整備していく。	生涯学習課
163	ちいさな理科館事業	ちいさな理科館事業費	5,108	・ちいさな理科館の取組を周知するため、町内企業をはじめ、町内小中学校などと連携した講座を展開している。 ・ちいさな理科館の活動等をより周知するため、きずなネット、町公式LINEでの配信を行っている。 ・職業体験型イベント「伝」との共同開催を通じて、ちいさな理科館への関心を高め、新しい受講者の獲得を目指す。 ・ちいさな理科館周辺の環境美化のため、職員で除草作業を定期的の実施している。	現状のまま継続	・子どもだけでなく大人も活用できる地域住民の生涯学習の場としての事業を展開し、ちいさな理科館の活性化を図る。	生涯学習課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 6 芸 術 文 化 ・ 文 化 財

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
164	芸術・文化振興事業	芸術・文化振興事業費	3,683	・子どもたちが文化芸術に親しむことができる場を提供する。 ・吉田町文化祭を町民の生涯学習の発表の場として有効活用してもらうことができるよう、地域住民に広報よしなどを通じてPRしていく。	現状のまま継続	・文化祭を中心に住民が優れた芸術文化に親しむことができる機会を提供していく。	生涯学習課
165	文化財保護事業	文化財保護事業費	507	・文化財パトロールを実施し、今後、有効かつ適正な維持管理をしていくための資料とする。	現状のまま継続	・文化財の保存・保護を図ることにより、郷土の歴史を知り歴史的遺産の価値を理解するとともに、郷土への愛着と郷土を誇りに思う心を育む。	生涯学習課

第 6 章 次 代 を 担 う 心 豊 か な 人 を 育 む ま ち づ く り 分 野 7 ス ポ ー ツ ・ レ ク リ エ ー シ ョ ン

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
166	体育施設・広場維持管理事業	体育施設・広場維持管理費	11,137	・各施設の整備や保守点検を実施し、適正な維持管理に努めるとともに、体育館の利用については、利用者会議の開催や事前調整等を行ってスムーズな運営に努めている。 ・施設予約システムの導入を進めている。	見直しの上で実施	・利用者に対し、快適な環境で安心してスポーツのできる場を提供していくため、引き続き、適正な維持管理を実施する。 ・施設予約をオンライン化することにより、利用者の利便性向上を図る。	生涯学習課
		総合体育館運営費	30,956				
		吉田町体育センター運営費	2,497				
167	社会体育振興事業	社会体育振興費	9,112	令和3年度から実施している、しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業を活用し、常葉大学と連携することで、スポーツ推進委員と町民が取り組みやすいスポーツ振興策を検討していく。	見直しの上で実施	・しずおか中部連携中枢都市圏地域課題解決事業における常葉大学から得たノウハウを、参加者増加に向けた取組へ反映していく。	生涯学習課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 1 行 財 政

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針		担当課
		予算事業名	決算額(千円)		令和8年度の方針		
168	一般行政事務事業(企画)	企画調査費	3,849	・中部5市2町首長会議に参加し、広域連携に関する調査・検討を実施している。 ・中部5市2町による連携中核都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取り組みを行っている。また、「しずおか中部連携中核都市圏ビジョン」の掲載事業を実施する。 ・第6次吉田町総合計画前期基本計画の評価及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価に伴い、吉田町総合計画等審議会を開催する。	現状のまま継続	・変化する行政課題に対応するため、常に最新の情報を収集するとともに、調査研究を継続して行う。 ・中部5市2町による連携中核都市圏形成に係る連携協定に基づき、連携して地域課題の解決に向けた取り組みを行い、「しずおか中部連携都市圏ビジョン」の掲載事業を継続して実施する。 ・第6次吉田町総合計画前期基本計画及び第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価を行うため、吉田町総合計画等審議会を開催する。	企画課
169	吉田町総合計画策定事業	吉田町総合計画策定事業費	2,212	・総合計画、行政評価及び予算が連動した一連の取組である「吉田町まちづくりステップアップ行政評価」による進捗管理を行っている。	現状のまま継続	・第6次吉田町総合計画前期基本計画の進捗管理を行う。 ・第6次吉田町総合計画後期基本計画の策定に向けた住民意識調査アンケートを実施する。	企画課
170	行財政構造改革推進事業	行財政構造改革推進事業費	8,360	・財務会計システムと連動した行政評価システムについて、運用開始を行う。 ・吉田町行財政構造改革推進本部会議において、第6次吉田町総合計画前期基本計画の進捗管理及び第2期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括評価について審議する。	現状のまま継続	・第6次吉田町総合計画前期基本計画及び第3期吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理を実施するため、各課(局)へのシート作成を依頼し、吉田町行財政構造改革推進本部会議において審議する。	企画課
171	一般行政事務事業(総務)	一般行政事務費	41,365	・行政事務を、適正かつ円滑に執行するため、引き続き、事務改善に努める。 ・住民の福祉の向上を図るため、無料法律相談負担金を支出し、月2回無料法律相談を実施する。	現状のまま継続	・行政事務を適正かつ円滑に執行し、最小の経費で最大の効果を上げられるよう、引き続き、事務改善に努める。	総務課
172	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(一般管理費)	吉田町牧之原市広域施設組合負担金(総務管理費)	31,795	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していく。	現状のまま継続	・広域施設組合及び牧之原市と連携し、広域的に事業を展開していくため、負担金を支出する。	総務課
173	日曜開庁事業	日曜開庁事業費	—	・日曜開庁を実施していく。	現状のまま継続	・行政サービスの利便性を維持向上させていくため、引き続き、日曜開庁を実施していく。	総務課
174	選挙管理事業	選挙管理費	1,634	・公職選挙法に基づき、公正かつ適正な事務処理を行う。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づき、公正かつ適正に執行する。	総務課
175	明るい選挙推進事業	明るい選挙推進費	34	・選挙人の選挙・政治に関する知識及び意識を一層向上させるため、積極的な選挙啓発を行う。	現状のまま継続	・選挙人の選挙・政治への関心を高めるため、ポスターコンクール、選挙出前授業、選挙時の啓発等を行う。	総務課
176	参議院議員選挙事業	参議院議員選挙費	—	・令和7年7月に執行。	休止	・令和8年度は、公職選挙法に基づく参議院議員選挙の執行予定はない。	総務課
177	衆議院議員選挙事業	衆議院議員選挙費	10,583	・令和7年度は、選挙の執行予定はない。	休止	・令和8年度は、公職選挙法に基づく衆議院議員選挙の執行予定はない。	総務課
178	県知事選挙事業	県知事選挙費	8,388	・令和7年度は、選挙の執行予定はない。	休止	・令和8年度は、公職選挙法に基づく県知事選挙の執行予定はない。	総務課
179	県議会議員選挙事業	県議会議員選挙費	—	・令和7年度は、選挙の執行予定はない。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく県議会議員選挙が令和9年4月に執行予定であることから、準備をする必要がある。	総務課
180	町長、町議会議員選挙事業	町長、町議会議員選挙費	—	・令和7年度は、選挙の執行予定はない。	現状のまま継続	・公職選挙法に基づく町長、町議会議員選挙が令和9年4月に執行予定であることから、準備をする必要がある。	総務課
181	一般行政事務事業(出納管理事務)	出納管理事務費	6,529	・吉田町DX推進計画及び同計画のアクションプランを推進するべく、県主催の研究会等に参加しながら、周辺市町の動向を注視している。 ・令和6年度の評価で対応した出納管理事務事業を、会計課職員内で共有し、誰もが同じレベルで業務を実施できるように取り組んでいる。	見直しの上で実施	・吉田町DX推進計画及び同計画のアクションプランに基づき、会計窓口におけるキャッシュレス決済の定着と安定運用を図る。 ・現在の日本における金融業界の現状と課題に注視し、当町財務の安定に向けて、公金管理を行う。	会計課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
182	一般行政事務事業(議会)	議会運営費	59,736	<ul style="list-style-type: none"> 「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に必要となる調査及び検討について支援を行っている。 より円滑な議会運営を目指し、新たな議案審議方法の検討について支援を行っている。 議会情報の発信について支援を行っている。 議会活動及び議会運営の支援に必要な専門的知識の習得及び情報の収集を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 「開かれた議会」の実現に向け、吉田町議会基本条例の推進及び議会報告会の充実等に向けた検討をさらに行うとともに、その支援を積極的に行う。 令和6年6月議会にて議会DX推進特別委員会が設置され、現在も継続で調査中であることから、今後の吉田町議会に必要なDXの推進について、知識や議論が深められ、議会目標が達成されるよう必要な支援を行う。 	議会事務局
		議会調査活動費	3,688				
183	一般行政事務事業(監査)	監査委員費	1,198	<ul style="list-style-type: none"> 監査計画に基づいた監査を実施するとともに、さらに効率的かつ効果的な監査を目指し、日程及び監査対象等について検討している。 「吉田町監査基準」に準拠した効果的な監査を実施している。 監査に必要な情報収集に努めるとともに、知識の習得を目的とした研修等へ参加予定である。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 監査をより充実させるため、引き続き、監査日程(回数)及び方法等について検討する。 より効果的な監査をするため、監査資料等を検討する。 監査事務強化のため監査委員事務局の設置及び専門性を持った職員の配置について検討する。 	議会事務局
184	統計調査事業	統計一般事務費	199	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公的統計に係る調査を実施する。 令和7年度は国勢調査が実施されるため、多数の調査員に適切に指示を行い、大きなトラブルなく遂行する。 登録調査員の新規登録のため、広報しだに加えて、SNS等で周知している。 統計要覧発行事業について、発行部数の見直しを図る。内容については、最新のデータに更新するとともに、出典が廃止された項目については、削除や修正等を行い改善を図る。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 各種行政運営に必要なデータを得るため、引き続き、調査を実施する。 令和8年以降に実施される統計調査に向けて、登録調査員確保のための継続的な募集を実施する。 統計要覧発行事業は、行政だけでなく住民、企業等に町の状況を正確に周知するために必要な事業であるため継続して実施し、部数については時代やニーズに沿ったものにできるよう検討を続ける。 	企画課
		諸統計調査費	1,872				
185	税務総務事業	税務総務費	57,552	<ul style="list-style-type: none"> 税に関する専門知識習得のため、各種研修に積極的に参加している。 各種実態調査の実施により滞納処分を進め、公正な収納事務に取り組んでいる。 	現状のまま継続	引き続き、税務総務事業を継続し、税務事務の効率化を進める。	税務課
		定額減税補足給付金給付事業費	222,154				
186	賦課徴収事業	賦課徴収費	54,246	<ul style="list-style-type: none"> 地方税共通納税システム(eLTAX)において町税の全税目について納付を受け付けている。 納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組んでいる。 滞納者の各種実態調査(預金、給与、生命保険、年金、関係機関等)を早期に実施し、滞納処分を進めている。 国民健康保険税における年金特別徴収額について、平準化を実施することで、町民の利便性及び国民健康保険税制度への理解向上につながるよう取り組んでいる。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> 特に困難な滞納者においては、静岡県滞納整理機構への移管件数を増枠し、収納率のより一層の向上を図る。 納期内の納付を促進するため、引き続き、口座振替の推進に取り組む。 引き続き、滞納者に対する各種調査を早期に実施し、滞納処分を進める。 	税務課
187	会計年度任用職員対策事業	会計年度任用職員対策事業費	3,574	<ul style="list-style-type: none"> 職員の知識を向上させるため、共済や非常勤公務災害の研修会に参加する予定である。 労働安全衛生規則に定められた職員健康診断を令和7年9月30日から10月3日に、ストレスチェックを10月中に実施する予定である。 非常勤公務災害については、会計年度任用職員の公務上の疾病に備え、本年も加入をしている。 	現状のまま継続	引き続き、行政運営を効率的かつ円滑に進めるため、必要に応じて会計年度任用職員を任用する。	総務課
188	人事管理事業	人事管理費	12,586	<ul style="list-style-type: none"> 新規採用職員試験を適切に実施する。 任期付職員及び再任用職員の任用、配置を適切に行った。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> 7月の新規採用職員試験に加え、高校生も受験できるよう秋以降にも試験を実施し、優秀な人材確保を目指す。 給与・人事管理システムの委託を続けることで、国の制度変更等にも対応していく。 貸与品の管理を適切に行う。 	総務課

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
189	職員福利厚生事業	職員福利厚生費	4,261	・職員の希望に応じて、産業医と面談を行うことができるようにしている。 ・令和7年9月30日～10月3日に職員健康診断を予定している。 ・10月にストレスチェックを行い、その診断結果を職員のメンタルヘルス向上及び職場環境の整備に活用する。	現状のまま継続	・地方公務員法第42条及び労働安全衛生規則に基づき、事業を継続して実施する必要がある。 ・平成27年度から義務化された「ストレスチェック」を継続して実施する必要がある。	総務課
190	職員研修事業	職員研修事業費	4,997	・各階層で必要な知識を該当職員全員が習得できるよう、階層別研修を実施する。 ・県や振興協会の研修を活用し、多くの職員に地方自治に関わる上で欠かすことのできない研修を受講する機会を提供する。 ・職員が講師となる研修を実施することで、職員同士の情報共有の場を作り、情報を提供する職員及び受講する職員の資質の向上を図る。	現状のまま継続	・自律的政策形成や、組織運営を担うことができる職員の育成を図るため、職員研修を実施する。	総務課
191	庁舎施設維持管理事業	庁舎管理費	95,063	・快適な公共施設空間を確保するために継続して維持管理を行う。 ・エネルギーサービスプロバイダーを利用し、維持管理費の削減を図る。	現状のまま継続	・町民及び職員が快適に利用できる施設として、引き続き、清掃・設備点検等の日常的管理及び建物・設備などの修繕を実施し、行政サービスの拠点となる庁舎の適切な維持管理を行うとともに、電力量の監視による空調運転時の最大需要電力の抑制やエネルギーサービスプロバイダーを利用し、維持管理費の削減を図る。	財政管理課
192	公有財産管理事業	公有財産管理費	27,538	・公共施設の維持管理を適正に実施していくため、個別施設計画の見直しを実施する。 ・公共事業の用に供する予定がない町有地について、早期に売却するように努める。	現状のまま継続	・公共施設等総合管理計画及び個別施設計画に基づき、公共施設の適正な管理を図る。 ・公共事業の用に供する予定がない普通財産の町有地について、早期に売却するように努める。	財政管理課
193	公用車管理事業	公用車管理費	4,043	・安全かつ迅速に公務を執行できるよう、引き続き、公用車の適正な維持管理を行う。	現状のまま継続	・引き続き、老朽化した公用車の更新を進めながら、適正な維持管理を図る。	財政管理課
194	契約管理事業	契約管理費	1,807	・職員の適正な契約事務手続きの徹底を図るため、日々の指導・助言に加えて、契約事務研修会の実施を継続する。 ・入札事務の効率化を図るため、電子入札制度を導入する。	現状のまま継続	・職員が契約事務を適正に執行できるよう、引き続き、指導・助言していく。 ・電子入札制度による入札を適切に執行していく。	財政管理課
195	土地取得事業繰出金	土地取得事業特別会計繰出金	—	・現在、対象となる償還はない。	現状のまま継続	・現在、対象となる償還はないが、今後、対象となる償還があれば適切に対応する。	財政管理課
196	土地取得事業(特別会計)	一般管理費	122	・土地開発基金への積み立てを継続して行う。	現状のまま継続	・土地開発基金への積み立て及び用地先行取得が必要な場合に迅速な対応を実施する。	財政管理課
		財産取得費	0				
		繰出金	0				
		公債費	—				
197	普通財産活用事業	普通財産取得費	0	・土地取得事業特別会計からの土地の買い戻しについて検討する予定である。	現状のまま継続	・土地所得事業特別会計で先行所得した土地を一般会計に買い戻すとともに、未利用財産の売却促進を図る。	財政管理課
198	財政管理事業	財政管理費	3,504	・引き続き、健全で安定した財政運営を行うためには、限りある財源を効果的・効率的に活用する必要があることから、令和8年度当初予算編成に向けて、既存事業のさらなる精査と新たな財源の確保に向けた情報収集を行っている。	現状のまま継続	・公債費の後年度負担については、引き続き、地方債管理原則に基づき事業の調整を行い、起債を活用する場合は可能な限り交付税措置のある起債を中心に借入れを行うことで抑制を図る。 ・人件費の増加、公共施設の長寿命化改修、賑わい創出関連の大規模事業の実施が見込まれるため、予算編成において、既存事業の必要性・妥当性を精査し、予算の平準化を図る。	財政管理課
199	公債費償還事業	公債費(元金)	931,934	・引き続き、平成16年度に設定した地方債管理原則に基づき借入を行うとともに、借入先からの償還表に基づき償還をすることにより、地方債残高の減少を図る。	現状のまま継続	・引き続き、平成16年度に設定した地方債管理原則に基づき借入を行うとともに、借入先からの償還表に基づき償還をすることにより、地方債残高の減少を図る。	財政管理課
		公債費(利子)	40,813				
		公債諸費	0				

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
200	基金費事業	財政調整基金費	831,520	<ul style="list-style-type: none"> ・取崩しとのバランスを見極め、引き続き、効率的な積立てに努める。また、特定目的基金の効率的な運用の検討を行ない、将来の財政需要への備えに努める。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰や人件費の増加による経常経費の増加、老朽化が進む公共施設等の適正管理等による財政需要の増加が見込まれる中、既存事業の必要性・妥当性をより一層厳しく精査し、中長期的な事業実施を考慮した予算編成を行い、財政調整基金の取崩し額の抑制を図る。 	
		減債基金費	1				
		環境保全基金費	2				
		小中学校建設基金費	55				
		教育振興基金費	668				
	ふるさとよしだ寄附金基金費	798,659					
201	予備費事業	予備費	0	<ul style="list-style-type: none"> ・災害等の被害や不測の事態に備えるため、引き続き、予備費を措置し、事業内では対応できない緊急性のある不測の事態に対して、予備費を充用し対応している。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、予備費を設け、緊急に解決すべき不測の事態に対応する。 	財政管理課
202	一般行政事務事業(戸籍住民基本台帳事務)	戸籍・住民基本台帳事務費	38,401	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正により複雑化する戸籍事務、住民基本台帳事務、マイナンバーカード関連事務等において、法を遵守し適正な事務を執行する。 ・マイナンバーカードの普及を推進するため、引き続き、利用促進のための周知に取り組む。 ・氏名の振り仮名の戸籍記載が令和7年5月26日に施行となったため、現存する本籍人に対して仮の振り仮名通知を8月に発送する。 ・国が定めた標準仕様書に準拠したシステム改修にあたり、現場に混乱が生じることないスムーズな移行を目指す。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・氏名の振り仮名の戸籍記載の施行から1年後、振り仮名の届出が提出されなかった本籍人に対して、職権による振り仮名記載を行う。 ・マイナンバーカードを利用する証明書コンビニサービス交付及び電子申請の普及促進を図る。 ・マイナンバーカード関連事務(電子証明書の更新等)の増加が見込まれるため、適切な対応ができるように環境を整える。 ・出生届、死亡届の電子申請が令和8年度を目途に開始されるため、適切な事務処理を行うよう努める。 ・旅券事務において現在有効期間中の切り替えのみを行っている電子申請が、令和7年度末に新規申請等も適用となる予定であるため、適正な事務執行に備える。 	
		戸籍・住民基本台帳事務費(繰越明許)	12,265				

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり分野2 デジタル化

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
203	情報化推進事業	情報化推進費	115,960	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町DX推進計画及び同計画のアクションプランに基づき、町のデジタル化政策を推進する。 ・全職員を対象とした自治体DX研修やマイナンバー取扱者を対象としたセキュリティ研修を開催する。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町DX推進計画及び同計画のアクションプランに基づき、町のデジタル化政策を推進する。 ・吉田町人材育成基本方針に基づき、デジタル人材の育成・確保について検討を行う。 ・国、県のデジタル関連施策について、今後示される新たな方針等に係る情報を収集し適切に対応していく。 	総務課

第7章 行政と住民が一体となって取り組むまちづくり分野3 情報公開

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課
		予算事業名	決算額(千円)			
204	情報公開制度推進事業	情報公開制度推進費	3,239	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町情報公開条例及び個人情報保護法に基づき、適正に事業を進める。 ・個人情報を取り扱う事務の透明性を図るため、個人情報ファイル簿の公表を行っている。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町情報公開条例及び個人情報保護法に基づき、適正に事業を進める。
		情報公開制度推進費(繰越明許)	4,400			

第 7 章 行 政 と 住 民 が 一 体 と な っ て 取 り 組 む ま ち づ く り 分 野 4 広 報 ・ 広 聴

No.	実施計画事業名	令和6年度の予算事業		令和7年度の取組状況	令和8年度の方針	担当課	
		予算事業名	決算額(千円)				
205	広報事業	広報事業費	13,819	<ul style="list-style-type: none"> ・読者にとっての「見やすさ」、「分かりやすさ」を第一に考えて広報よしだの作成に努めていく。 ・広報よしだの編集業務委託を実施し、広報よしだのクオリティを維持しつつ、町ホームページやSNSなどのデジタル面の情報発信強化に努める。 ・広報よしだの配架依頼先を増やすなど情報弱者を発生させないよう努めていく。 ・閲覧者が利用しやすいホームページとなるよう、町職員の記事投稿の統一を図る。 ・LINE公式アカウントを活用し、町からの情報発信を充実させる。 ・広報紙への掲載のために取材した情報をホームページやSNSにも掲載し、迅速に情報提供を行っていく。 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、わかりやすく、親しみやすい広報紙の作成を心がける。 ・町内外に分かりやすい情報をより適切に発信していくため、ホームページのシステムやデザインのリニューアルを検討する。 ・広報よしだと町ホームページとの連動を強化していく。 ・LINE公式アカウントやInstagramなどSNSにおいて積極的に情報を発信していく。 ・公式InstagramやYouTubeチャンネルなどを活用した動画による情報発信を積極的に行っていく。 ・LINE公式アカウントは社会情勢の変化等に合わせて新たなサービスとの連携等を検討しつつ、情報発信の面では現状を維持する。 	企画課
206	広聴事業	広聴事業費	5	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よしだに「どこでも訪問しますDAY」のお知らせ記事を掲載して周知を図るとともに、「お問い合わせフォーム」や土木要望等に迅速かつ適切に対応している。 ・新たな広聴の仕組みづくりに向け、各課における町民意見等の収集の状況の取りまとめを実施している。 	見直しの上で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、「どこでも訪問しますDAY」や「お問い合わせフォーム」、「ひらめき&おもいつきレター」などを実施し、町政に対するニーズの把握に努めるとともに、時代に沿った新たな広聴システムの構築と運用を行う。 	総務課
207	吉田町表彰事業	吉田町表彰費	423	<ul style="list-style-type: none"> ・条例等に基づき各分野から候補者を選出し、推薦委員会において決定した被表彰者を表彰する。 (吉田町表彰授与式:令和7年11月7日(金)) 	現状のまま継続	<ul style="list-style-type: none"> ・町民に対して地域社会貢献に対する意識の醸成を図るため、条例等に基づき町の各分野の功労者を表彰する。 ・各自治会に依頼し、地域の功労者の掘り起こしを行う。 	総務課